

平成30年度
山口県学力定着状況確認問題
結果について



平成30年12月

山口県教育庁義務教育課

目 次

I	実施概要 P	1
II	教科の問題に関する結果 P	2
	1 小学校		
	（1）国語 P	2
	（2）算数 P	6
	（3）社会 P	10
	（4）理科 P	13
	2 中学校		
	（1）国語 P	16
	（2）数学 P	19
	（3）社会 P	22
	（4）理科 P	25
	（5）英語 P	28
	3 設問別正答率一覧 P	31
III	児童生徒質問紙調査の結果 P	47

I 実施概要

1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

2 実施期日

平成30年10月24日（水）※学校の状況に応じて、10/22～10/26の期間に実施

3 実施対象及び実施内容

(1) 小学校

学 年		実施人数	内 容 (時 間)	
小 学 校	第4学年	10,912人	国語、算数(各40分)	及び質問紙
	第5学年	11,003人	国語、算数、社会、理科(各40分)	及び質問紙
	第6学年	10,925人	国語、算数(各40分)	及び質問紙
中 学 校	第1学年	10,181人	国語、数学(各45分)	及び質問紙
	第2学年	10,481人	国語、数学、社会、理科、英語(各45分)	及び質問紙

(2) 教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

(3) 質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

○各学年の実施人数について

・各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙を実施した児童生徒数の最大値を示している。

○平均正答率の算出方法について

・各教科の平均正答率は、問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

・学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 小学校

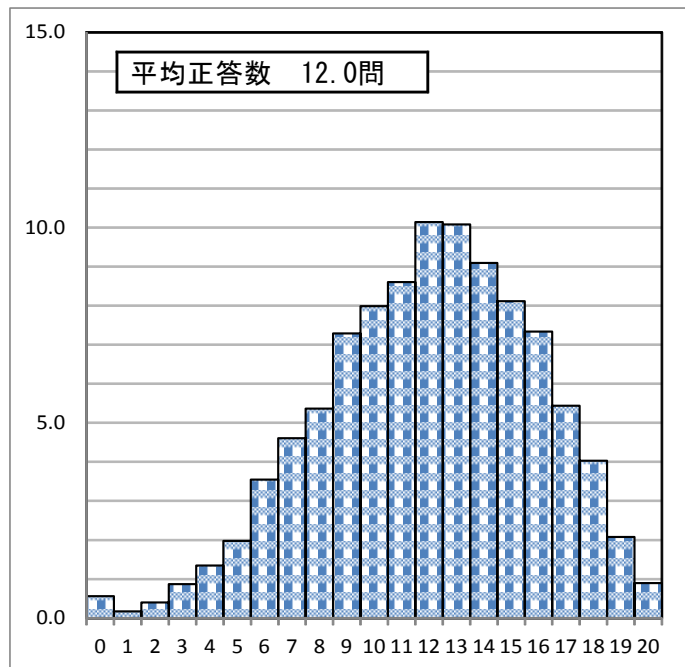
(1) 国語

【第4学年】

実施児童数	10,912 人
設問数	20 問
平均正答率	59.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	68.8
	主として「活用」	4	24.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	47.4
	書くこと	3	31.2
	読むこと	4	61.0
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	10	71.8
評価の観点	話す・聞く能力	3	47.4
	書く能力	3	31.2
	読む能力	4	61.0
	言語についての知識・理解・技能	10	71.8
問題形式	選択式	5	62.5
	短答式	9	73.9
	記述式	6	36.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



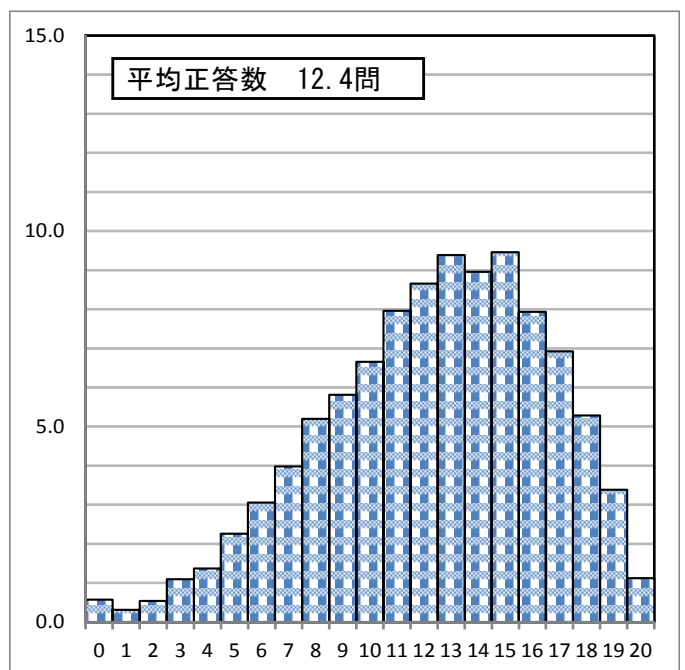
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	11,003 人
設問数	20 問
平均正答率	61.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	66.9
	主として「活用」	3	33.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	64.2
	書くこと	4	37.1
	読むこと	5	60.3
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	74.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	64.2
	書く能力	4	37.1
	読む能力	5	60.3
	言語についての知識・理解・技能	8	74.2
問題形式	選択式	10	70.4
	短答式	6	61.8
	記述式	4	40.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



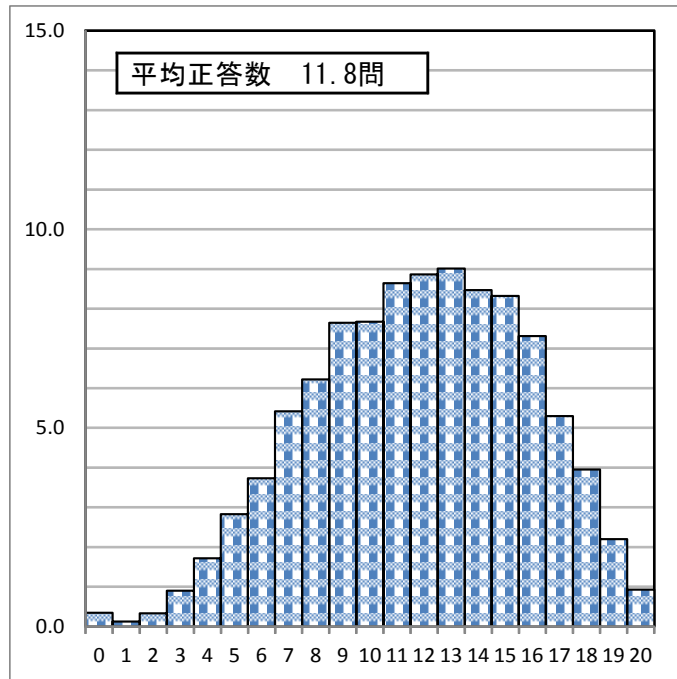
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,921 人
設問数	20 問
平均正答率	59.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	69.7
	主として「活用」	6	34.4
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	81.2
	書くこと	3	33.2
	読むこと	6	48.9
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	9	69.5
評価の 観点	話す・聞く能力	2	81.2
	書く能力	3	33.2
	読む能力	6	48.9
	言語についての 知識・理解・技能	9	69.5
問題形式	選択式	10	66.8
	短答式	7	59.1
	記述式	3	33.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「荷物（にもつ）」（小4¹一：97.5%）
 - ・「固める（かためる）」（小5¹一：97.7%）
 - ・「興味（きょうみ）」（小6¹一：98.9%）

- 目的に応じて、中心となる語を捉えることについて、相当数の児童ができています。
 - ・【ようこさんのメモ】に入る言葉を抜き出して書く（小4²一：89.2%）

- 段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解することについて、相当数の児童ができています。
 - ・文中の（ ）に入る言葉を選択（小5³一：84.5%）

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・「歴史」と「気候」の両面から本文中の言葉を使って書く（小4³四：11.1%）
 - ・資料の中から二つの分かったことを取り上げて書く（小5⁴三：28.9%）
 - ・理由を資料の中から取り上げて書く（小5⁵三：16.5%）
 - ・二つの資料から言葉や文を取り上げて書く（小6⁴二：34.0%）
 - ・資料から「二つの場所での体験」を取り上げて書く（小6⁵一：26.4%）
 - H30小6 全国調査（県平均）30.5% 「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」
 - H30小6 全国調査（県平均）30.0% 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」

- 主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けることについて、課題が見られる。
 - ・「しかし」を使って二文に分けること（小6¹六：57.4%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・「歴史」と「気候」の両面から本文中の言葉を使って書く。

_____部には、「先生が発見した化石は、日本列島のれきしや気こうを知るうえでの重要な手がかりになっているのです。」とありますが、くわしく言うと、化石はどのようなことを知るうえでの手がかりになっていますか。次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 日本列島の「れきし」と「気こう」の両方のことについて、本文中の言葉を使って書くこと。
- 五十字から、七十字までにまとめて書くこと。なお、(、)や(。)も字数に数えます。

【正答例】

氷河時代に日本列島の一部が大りとつながっていたりはなれていたりした時期や、当時の気こうがげんざいとはかなりちがっていたこと。

正答率：11.1%

(小学校5年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・理由を資料の中から取り上げて書く。

田中さんは、瀧川辨三について次のような紹介文を書きました。 に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 辨三が、こんなに立ち向かい、努力を続けた人だと思う理由を【瀧川辨三について書かれた本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「なぜなら、」に続けて、紹介文にふさわしい表現で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、句読点(、)や(。)や(「」)も字数にふくむ。

【正答例】

(なぜなら、)会社がとう産しそうになっても決してあきらめることなく、自ら工員として働きながら世界一のマッチに勝てる製品を作るために研究を進め、追求し続けたからです。

正答率：16.5%

(小学校6年生)

- 主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けることについて、課題が見られる。

次の文は、長いので読みやすくなるように、「しかし」を使って二つの文に分けます。書き直したときの一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「しかし、」に続く七文字を書きましょう。

五年生までは、はずかしがりやで、授業中に発表することが苦手だったが、六年生になって、応えん係として、他の学年の前に立って話す機会が増えたので、自分に自信がもてるようになってきた。

【正答】 とが苦手だった(。しかし、)六年生になって

正答率：57.4%

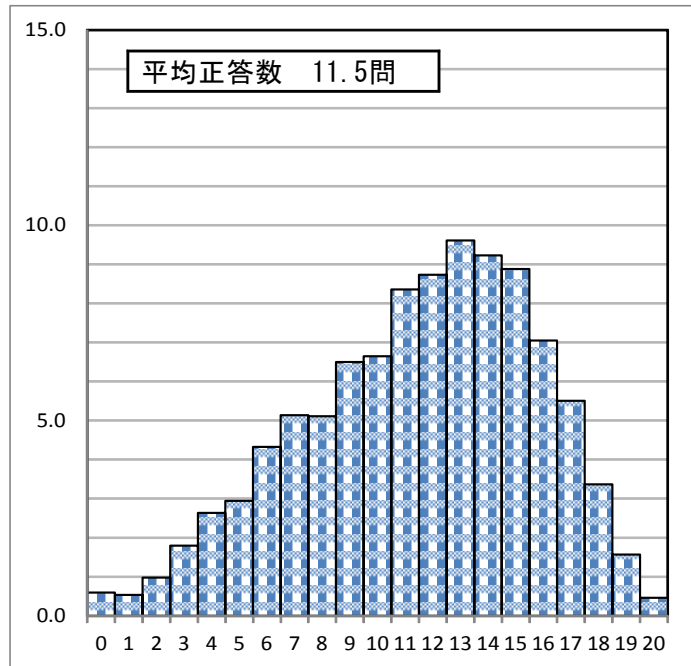
(2) 算数

【第4学年】

実施児童数	10,851 人
設問数	20 問
平均正答率	57.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	63.7
	主として「活用」	7	46.1
学習指導 要領の 領域等	数と計算	7	67.3
	量と測定	3	70.5
	図形	3	40.8
	数量関係	7	49.5
評価の 観点	数学的な考え方	9	51.6
	数量や図形についての技能	9	72.0
	数量や図形についての知識・理解	2	19.1
問題形式	選択式	2	61.4
	短答式	13	63.5
	記述式	5	40.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



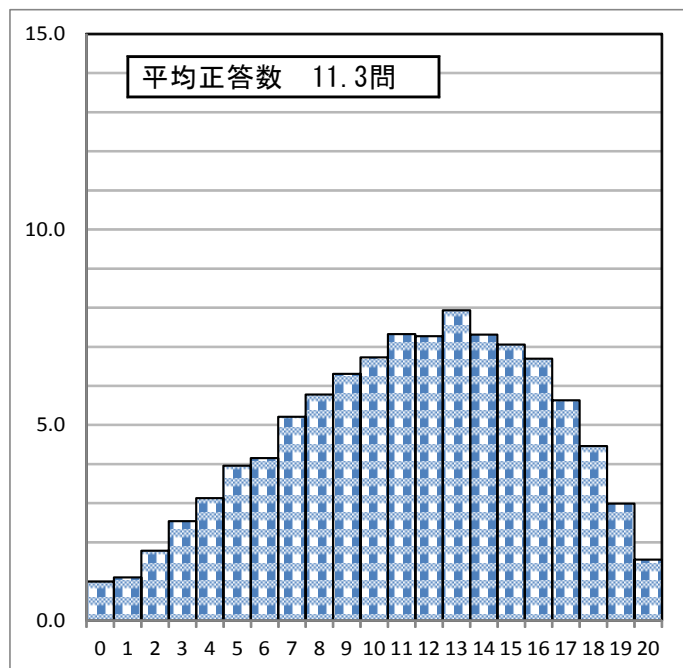
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	11,002 人
設問数	20 問
平均正答率	56.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	59.3
	主として「活用」	5	47.7
学習指導 要領の 領域等	数と計算	9	60.7
	量と測定	5	49.0
	図形	3	58.0
	数量関係	3	38.4
評価の 観点	数学的な考え方	5	47.7
	数量や図形についての技能	12	59.9
	数量や図形についての知識・理解	3	56.7
問題形式	選択式	6	65.9
	短答式	11	58.7
	記述式	3	28.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



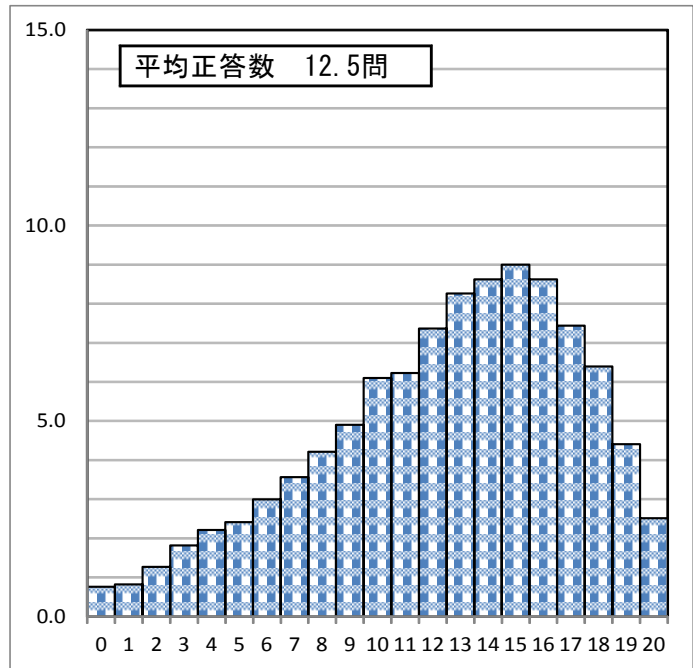
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,925 人
設問数	20 問
平均正答率	62.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	68.4
	主として「活用」	5	43.9
学習指導 要領の 領域等	数と計算	10	66.9
	量と測定	3	51.0
	図形	3	61.4
	数量関係	4	59.9
評価の 観点	数学的な考え方	5	43.9
	数量や図形についての技能	11	72.5
	数量や図形についての知識・理解	4	57.0
問題形式	選択式	6	57.8
	短答式	12	67.6
	記述式	2	43.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解すること成果が見られる。
 - ・繰り下がりのある3位数－2位数の減法の計算をすること (小4 1(1) : 82.8%)
 - ・整数と小数の加法の計算をすること (小4 1(4) : 80.3%)
 - ・同分母分数の減法の計算をすること (小4 1(5) : 91.2%)
 - ・億や万の大きな数を数字で表すこと (小6 2(1) : 82.7%)

- 数量関係を捉えることに成果が見られる。
 - ・問題場面を線分図に表すこと (小4 11(1) : 82.9%)
 - ・数量を□や△などを用いて表し、その関係を式にすること (小5 1(2) : 85.5%)
 - ・x や y を用いて、数量の関係を式に表すこと (小6 9 : 87.7%)
 - ・比例関係に着目し、正六角形のまわりの長さを求めること (小6 10 : 93.1%)

- 分数の意味を理解することに課題が見られる。
 - ・数直線上の数を分数で表すこと (小4 3 : 12.7%)

- 数量関係を理解することに課題が見られる。
 - ・示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りの取り方を考えること (小4 4(1) : 45.9%, 小5 10 : 39.3%)
 - ・乗法の場面を、□を使った式に表すこと (小4 5 : 25.4%)
 - ・二次元表の中の数が表す事柄を読み取ること (小5 11 : 37.5%)

- 割合の内容を理解することに課題が見られる。
 - ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること (小6 3 : 35.7%)
 - ・1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい分数である場合でも除法を用いることを理解すること (小6 4(2) : 48.4%)
 - ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること (小6 12 : 23.2%)

- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。
 - ・変わり方の様子が分かりやすい理由を、根拠を明らかにして記述すること (小4 4(2) : 12.4%)
 - ・三角形の二つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述すること (小4 7 : 19.6%)
 - ・円の半径の求め方を長方形の横の長さから考え、記述すること (小4 13 : 42.9%, 小5 9 : 37.5%)
 - ・体積の違いを筋道を立てて記述すること (小5 4(2) : 13.4%, 小6 8(2) : 22.5%)
 - ・面積が1 cm²小さくなることの説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を言葉と式を用いて記述すること (小5 12(2) : 35.7%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

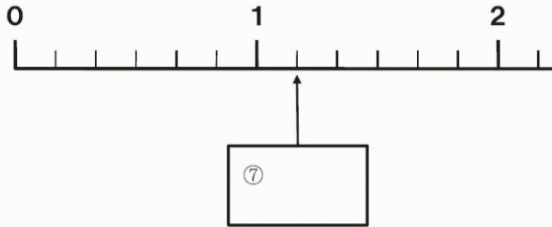
※ ○は成果、●は課題を示している。

算数 【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生)

● 分数の意味を理解することに課題が見られる。

3 次の数直線には、とがりあつた整数の間を6等分した目もりがついて
います。□の数を、分数で表しましょう。



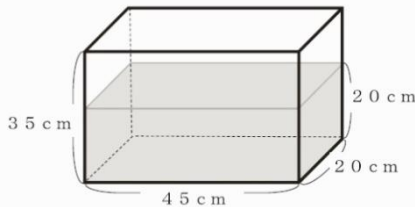
【正答】 $\frac{7}{6}$ ($1\frac{1}{6}$)

正答率：12.7%

(小学校5・6年生)

● 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。

4 次の図のような直方体の水そう（数字は内のりの長さ）に深さ20cmまで水が入っています。水を深さ10cm分増やしたいと思います。そこで、バケツに8Lの水を用意しました。すると、ゆうたさんが、次のように話しました。



深さ10cm分増やすためには、8Lの水では足りないよ。



(2) ゆうたさんが、8Lの水では足りないと考えたわけを、言葉や式を使って説明しましょう。

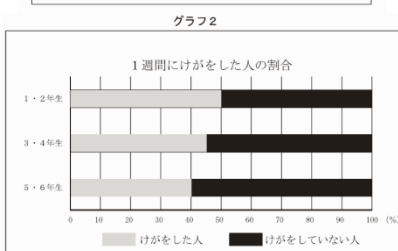
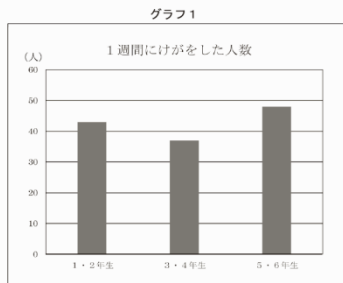
【正答例】 深さ10cm分の水の量は、 $20 \times 45 \times 10 = 9000$ で、 9000 cm^3 です。
バケツの水の量は、 $8\text{L} = 8000 \text{ cm}^3$ です。
バケツの水の量は、深さ10cm分の水の量より少ないので、足りません。

小5正答率：13.4%，小6正答率：22.5%

(小学校6年生)

● 割合の内容を理解することに課題が見られる。

12 あきらさんは、学校で1週間にけがをした人数について調べました。



あきらさんたちは、グラフ1とグラフ2を見て次のようにまとめました。

- ・けがをした人数が一番多いのは **ア** です。
- ・ **ア** のけがをした人数の割合は、一番 **イ** です。

上の **ア** にあてはまるものを、下の1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の **イ** にあてはまるものを、下の4と5から選んで、その番号を書きましょう。

- ア**
- 1 1・2年生
 - 2 3・4年生
 - 3 5・6年生

- イ**
- 4 小さい
 - 5 大きい

【正答】 **ア 3** , **イ 4** (完答)

正答率：23.2%

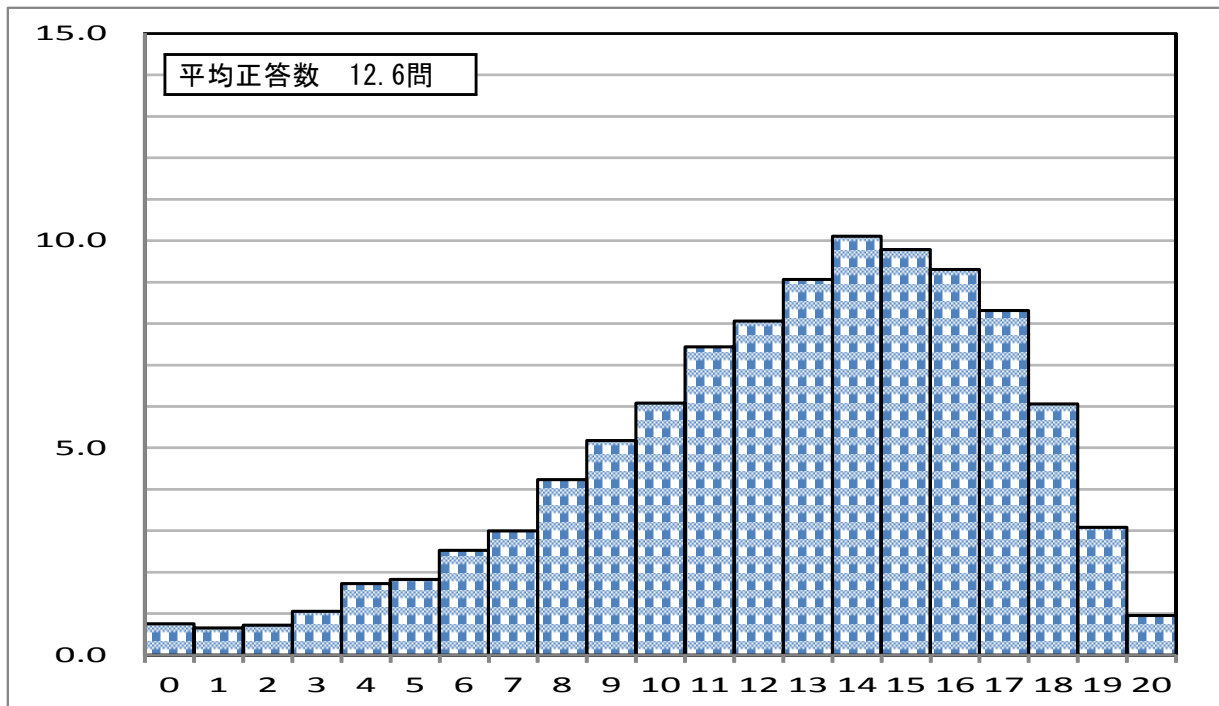
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,978 人
設問数	20 問
平均正答率	63.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	12	69.8
	主として「活用」	8	52.9
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	3	64.5
	地域の生産や販売	2	76.6
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	3	77.0
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	54.8
	我が国の国土	5	52.1
	我が国の農業や水産業	3	68.0
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	51.5
	資料活用の技能	8	67.2
	社会的事象についての知識・理解	6	69.1
問題形式	選択式	9	68.5
	短答式	6	70.0
	記述式	5	45.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 地図の基本的な約束事に関しては、知識・理解の定着が見られる。
 - ・ 地図記号が表している建造物を判断すること (1)90.8%
- 地域の安全を守る働きについての学習など、学習の対象が身近な生活に関わる場合には、知識の定着が見られるとともに、資料活用の技能についても一定の成果が見られる。
 - ・ 山口県で起こった事件の数をグラフから正確に読み取ること (3)81.4%
 - ・ 会話の内容に必要な資料を判断すること (3)83.9%
- 地図から身近な地域の様子を捉え、場所による特徴について理解することに課題が見られる。
 - ・ 大型ショッピングセンターが大きい道路沿いにある理由について、説明すること (1)40.4%
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。
 - ・ 交通の様子を表した地図から、山口県は海外の国ともつながっていることを条件に合わせて、説明すること (5)38.4%
 - ・ 平均気温と降水量の特徴をもとに、地域を判断し、その気候の特徴について説明すること (7)11.5%
- 日本の位置を条件に合わせて説明することに課題が見られる。
 - ・ 日本の位置を大陸の名称と方位を用いて、説明すること (6)38.3%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

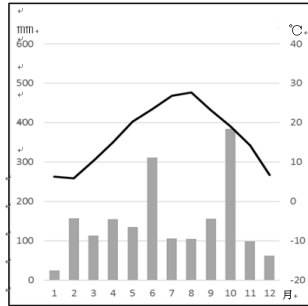
※ ○は成果、●は課題を示している。

社会【小学校5年生】

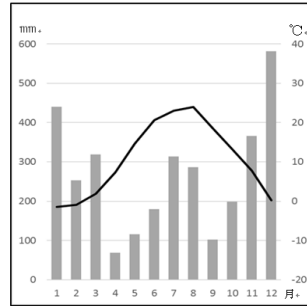
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。

7 ゆうこさんは、手紙をきっかけに、日本各地の気候にきょうみをもちました。調べてみると、東京とA市の月別平均気温と降水量についての資料が見つかりました。

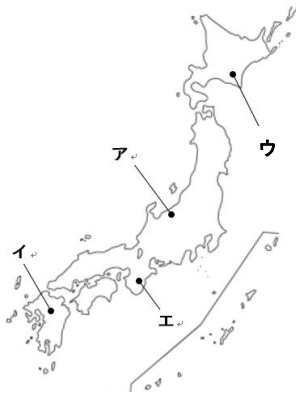
東京の月別平均気温と降水量



A市の月別平均気温と降水量



(2) A市は、どの都市の気候だと考えられますか。下の地図の**ア**から**エ**の中から一つ選んで、その記号を書きましょう。また、そのように考えられる理由を書きましょう。



【正答例】(完答)

(2) 記号 **ア**

理由 **冬の気温が低く、冬の降水量が多いから。**

正答率：11.5%

- 日本の位置を条件に合わせて説明することに課題が見られる。

6 けんたさんたちは、次の世界地図を見ながら、世界の国々と日本の位置について話し合っています。

<児童が話し合っている様子を提示>

(2) かおりさんは、日本の位置を説明しています。 にあてはまる説明を、世界で最も大きな大陸の名前と方位を用いて書きましょう。

【正答例】(2) ユーラシア大陸の東側

正答率：38.3%

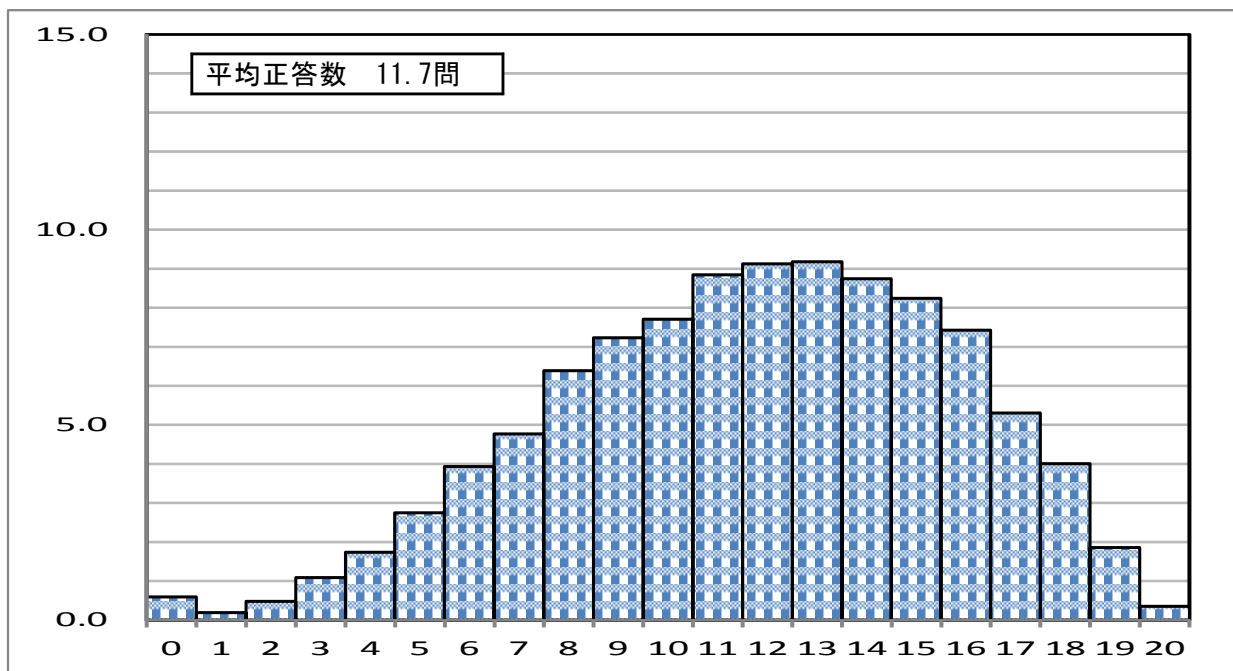
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	11,000 人
設問数	20 問
平均正答率	58.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	61.5
	主として「活用」	5	49.9
学習指導 要領の 領域等	物質	3	65.3
	エネルギー	7	54.4
	生命	8	60.3
	地球	2	56.0
評価の 観点	科学的な思考・表現	6	50.0
	観察・実験の技能	5	61.8
	自然事象についての知識・理解	9	62.5
問題形式	選択式	11	61.8
	短答式	6	51.0
	記述式	3	62.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 目的に応じて予想を設定することに成果が見られる。
 - ・ 輪ゴムで動く車のゴムの働きを調べる実験について、目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断できること (1)93.9%

- 人の体のつくりと働きを理解することに成果が見られる。
 - ・ 体の各部にある曲がる部分を「関節」という名称で理解すること (4)83.7%

- 動物の発生や成長について観察するための必要な知識・技能について成果が見られる。
 - ・ メダカの生育に適した環境について理解すること (8)87.2%

- 水の性質について理解することに成果が見られる。
 - ・ 水は圧しても体積は変わらないという水の性質を理解すること (5)62.8%

H29小5 学力定着状況確認問題49.4%

「水と空気の押し縮められ方の違いについて理解している」

- ゴムの力と物の動く様子に着目する実験について、実験の目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断することに課題が見られる。
 - ・ 輪ゴムの本数と車の動く距離の関係を調べるために、比較すべき条件を判断すること (1)52.7%

- 光の性質について理解することに課題が見られる。
 - ・ 虫めがねで日光を集めたときの明るさと紙の様子について、理解すること (2)17.6%

- 植物の発芽について理解することに課題が見られる。
 - ・ インゲンマメが育ってしおれた子葉が、種子のどの部分にあたるかを理解すること (6)36.4%

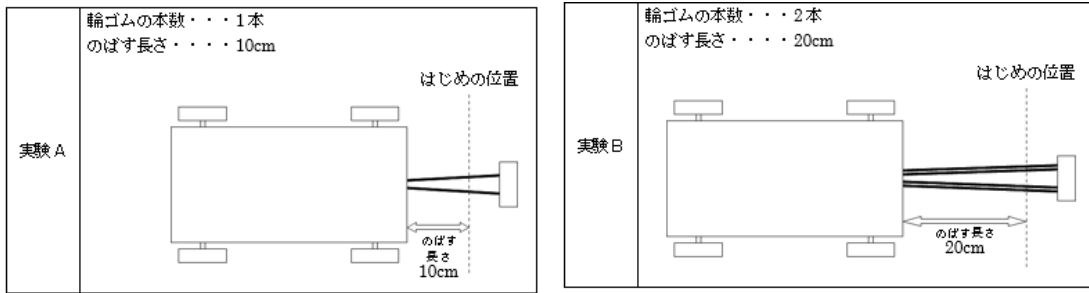
正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

- ゴムの力と物の動く様子に着目する実験について、実験の目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断することに課題が見られる。

1 (2) 太ろうさんは次のAとBの二つの実験で、輪ゴムの本数と車の動くきよりの関係を調べようとしています。すると、花子さんが太ろうさんにアドバイスをしました。花子さんのアドバイスを読んで、()に当てはまる言葉を答えましょう。

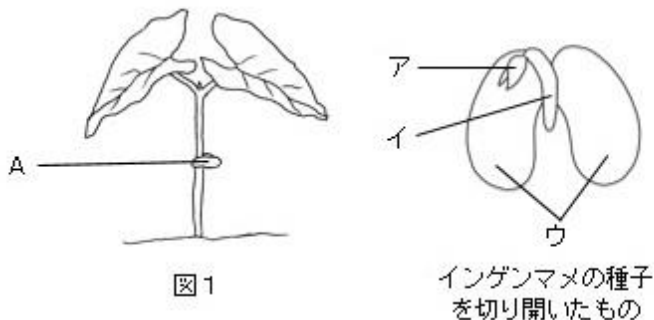


【正答例】〈花子さんのアドバイス〉
 輪ゴムの本数と車の動くきよりの関係を調べたいのよね。
 それなら、(のばす長さ) をそろえないといけないと思うよ。

正答率：52.7%

- 植物の発芽について理解することに課題が見られる。

6 (2) 太ろうさんと花子さんは、インゲンマメの種子を土に植えました。インゲンマメが育ってくると、図1のAの部分がしおれていました。Aの部分の名前を答えましょう。また、Aの部分に当たるのは、インゲンマメの種子を切り開いたもののどの部分ですか。アからウの中から一つ選んで、記号で答えましょう。



【正答例】〈名前〉子葉
 〈記号〉ウ

正答率：36.4%

2 中学校

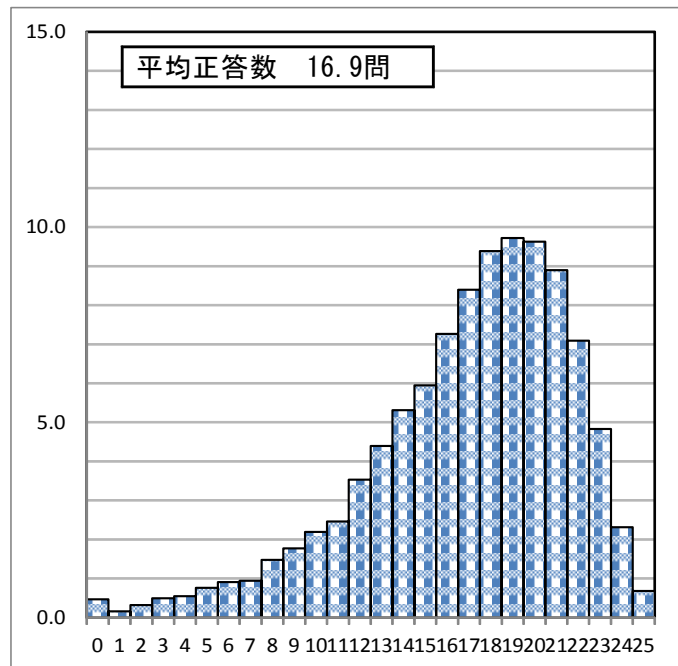
(1) 国語

【第1学年】

実施生徒数	10,181 人
設問数	25 問
平均正答率	67.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	71.2
	主として「活用」	11	63.3
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	58.9
	書くこと	2	52.5
	読むこと	9	69.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	12	70.7
評価の 観点	話す・聞く能力	2	58.9
	書く能力	2	52.5
	読む能力	9	69.1
	言語についての 知識・理解・技能	12	70.7
問題形式	選択式	10	73.9
	短答式	12	67.3
	記述式	3	48.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



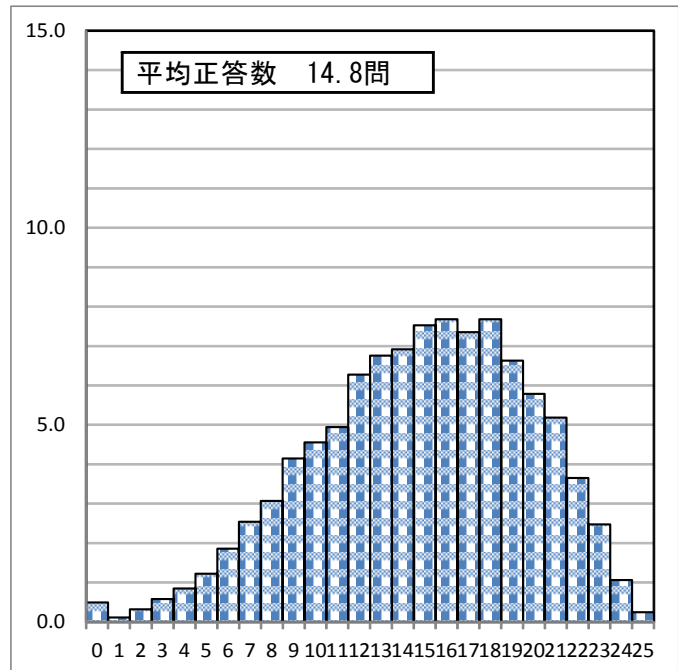
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,416 人
設問数	25 問
平均正答率	59.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	60.2
	主として「活用」	9	57.6
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	81.3
	書くこと	3	44.0
	読むこと	6	56.8
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	14	60.5
評価の 観点	話す・聞く能力	2	81.3
	書く能力	3	44.0
	読む能力	6	56.8
	言語についての 知識・理解・技能	14	60.5
問題形式	選択式	13	71.3
	短答式	9	47.0
	記述式	3	44.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、相当数の生徒ができています。

(中1 **1**一い : 94.4%) (中2 **1**一 (1) : 97.1%、**1**一 (2) : 86.3%)

- 1年生において、時と場に応じて、適切な敬語を使うことについては、相当数の生徒ができています。(中1 **3**二 (2) : 86.9%)

- 2年生において、知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問することについては、相当数の生徒ができています。(中2 **5**二 : 87.0%)

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られる。

- ・「せいせき (成績)」(中1 **3**一 (2) : 44.7%)

- ・「はってん (発展)」(中1 **3**一 (3) : 64.3%)

- ・「しじ (支持)」(中2 **4**一 (2) : 26.2%)

H30 中3 全国調査A **8**一3 「ゆるす (許す)」(県平均) 73.0% 「文脈に即して漢字を正しく書く」

- 1年生において、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題が見られる。(中1 **1**四 : 37.3%)

- 2年生において、内容を的確に捉え必要な情報を取り出すことに課題が見られる。(中2 **2**二 : 49.9%、**2**三 : 29.1%)

H30 中3 全国調査A **5**二 (県平均) 61.4% 「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」

- 2年生において、古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えることに課題が見られる。(中2 **3**二 : 19.5%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【中学校 1・2 年生】

(中学校 1 年生)

- 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題が見られる。

③ 「どうも変ですね」とありますが、宇宙人はどのようなことを変だと言っているのですか。次の条件 1 と条件 2 にしたがって書きなさい。

条件 1 「子供たちが自分たちからお願いしたことなのに、」という書き出しに続けて書くこと。

条件 2 50 字以上、60 字以内で書くこと。(解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。)

(略)「それで見つかったのか、約束の相手たちは。」

「見つけはしましたが、どうも変ですね、この星の連中は。」

「いったい、^③どうだったんだ。」

「すっかり忘れているのです。そこで、こっちから言いだしてみたのですが、太っ腹をなでながら、だれもがこんな返事でしたよ。ああ、こんなこともあったかな、だが、そんな約束はなかったことにして、いまさらよけいなことはしないでくれ、とね。」

(星新一 「約束」による)

【正答例】

(子供たちが自分たちからお願いしたことなのに、) 約束を忘れていたり、いまさらよけいなことはしないでくれと言ったりしたこと。

正答率：37.3%

(中学校 2 年生)

- 内容を的確に捉え必要な情報を取り出すことに課題が見られる。

② 「実際の時間の経過に、自分の生命の回転速度がついていけない」とは、どういうことか。次の文の() にあてはまる言葉を、文章中から十五字で書き抜きなさい。

実際の物理的な時間はいつでも同じスピードで過ぎていくのに、() ということ。

【正答】 体内時計は徐々にゆっくりと回る

正答率：29.1%

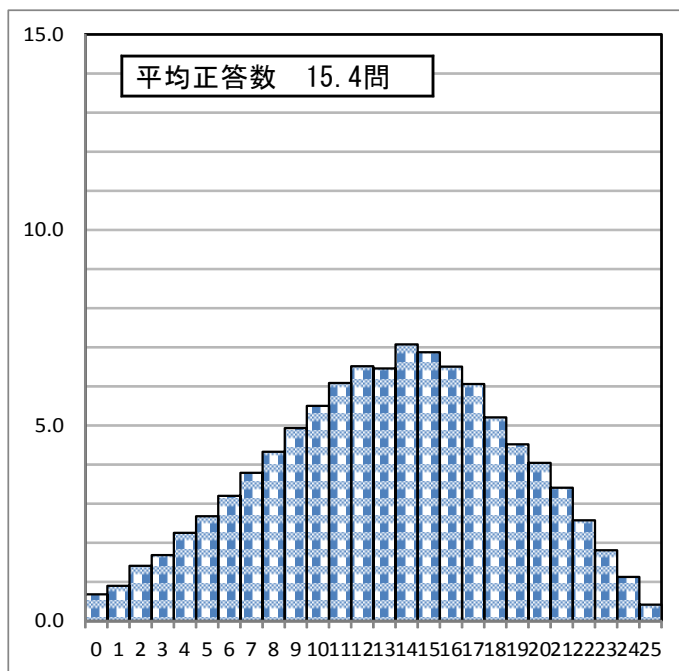
(2) 数学

【第1学年】

実施生徒数	10,121 人
設問数	24 問
平均正答率	64.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	67.9
	主として「活用」	7	54.4
学習指導 要領の 領域等	数と式	15	64.5
	図形	4	60.0
	関数	2	70.1
	資料の活用	3	62.4
評価の 観点	数学的な見方や考え方	5	47.5
	数学的な技能	14	66.2
	数量や図形などについての 知識・理解	5	74.3
問題形式	選択式	6	69.9
	短答式	16	63.3
	記述式	2	51.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



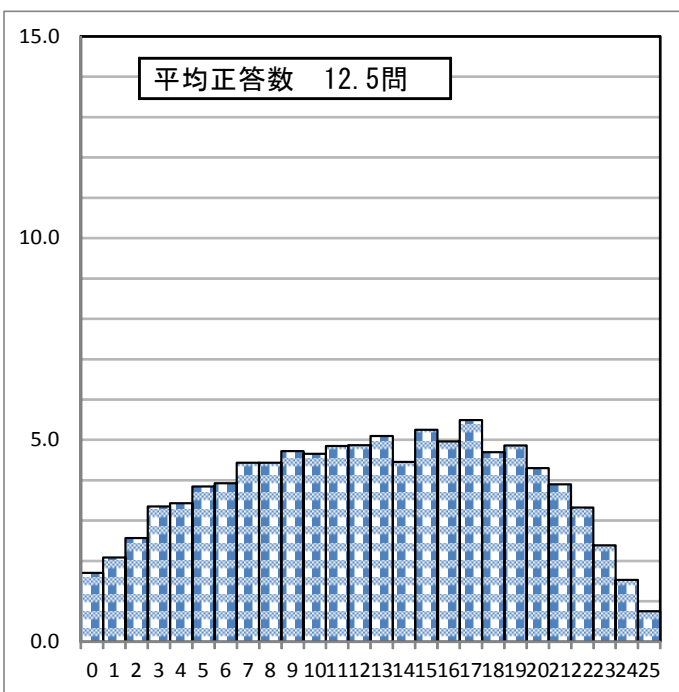
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,426 人
設問数	25 問
平均正答率	50.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	53.1
	主として「活用」	6	40.3
学習指導 要領の 領域等	数と式	12	53.1
	図形	6	35.4
	関数	5	56.7
	資料の活用	2	58.9
評価の 観点	数学的な見方や考え方	4	31.5
	数学的な技能	14	51.6
	数量や図形などについての 知識・理解	7	57.6
問題形式	選択式	5	55.4
	短答式	18	51.5
	記述式	2	23.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
 - ・分数の乗法の計算をすること (中1 1)(1)88.0%)
 - ・絶対値の意味を理解すること (中1 1)(4)82.0%)
 - ・正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること (中1 1)(5)80.1%)
 - ・長方形の縦と横の長さの比から、横の長さを求めること (中1 2)(2)80.8%)
 - ・比例の意味を理解すること (中1 4)(1)82.9%)
 - ・展開図から立体を読み取ること (中1 5)(1)87.6%)
 - ・度数分布表を理解すること (中2 9)(1)87.4%)

- 与えられた情報を読み取り、分類・整理することに、おおむね成果が見られる。
 - ・二次元の表を用いて、情報を分類・整理すること (中1 8)(3)80.9%)

- 具体的な場面で考察の数量の関係を見出すことに、おおむね成果が見られる。
 - ・考察の対象になっている数量を明確に捉えること (中1 9)(1)85.8%)

- 基本的な内容の理解に課題が見られる。
 - ・整式の減法の計算をすること (中1 2)(1)49.1%)
 - ・円柱の表面積を求めること (中2 6)(1)25.1%)
 - ・比例の関係を式に表すこと (中2 3)(2)38.2%)
 - ・折り目の線分の特徴を理解し、適切な作図方法を選ぶこと (中2 5 44.1%)

- 割合や比例の関係を用いて、数量を求めることに課題が見られる。
 - ・基準量を基に比較量を求めること (中1 3)(2)43.3% 中2 2)(5)50.7%)
 - ・半径の異なる二つの円の円周の長さを比較すること (中1 5)(2)20.7%)

- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
 - ・商、積、余りの関係を文字式で表すこと (中1 3)(1)37.3% 中2 2)(2)35.6%)
 - ・求めたい数量を式を使って表すこと (中1 9)(2)32.5%)
 - ・2桁の自然数を文字式で表すこと (中2 2)(6)49.7%)
 - ・文字を用いて立体の体積を表すこと (中2 8)(1)17.7%)
 - ・与えられた情報を適切に処理し、立式すること (中2 10)(2) 8.5%)

- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
 - ・複数の条件がある組み合わせを求めること (中1 8)(2)38.1%)
 - ・与えられた情報を適切に処理すること (中2 10)(1)56.2%)

- 問題解決の方法を説明することや理由を説明することに課題が見られる。
 - ・事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて説明すること (中1 9)(3)43.1%)
 - ・立体の体積の大きさの違いを求める方法を説明すること (中2 8)(2)16.1%)
 - ・判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること (中2 9)(2)30.4%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

数学【中学校1・2年生】

(中学校1・2年生)

- 商、積、余りの関係を文字式で表すことができる。

ある数を3で割ると、商が a で余りが2になります。ある数を、 a を用いた式で表しなさい。

【正答】 $3a+2$

中1正答率：37.3% 中2正答率：35.6%

(中学校1年生)

- 事象における数量の関係を式で表したり、事柄が成り立つ理由を説明したりすることに課題が見られる。

9 図1のように、ストローを並べて、正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数を考えます。

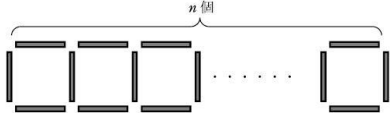


図1

例えば、図2のように正方形を3個つくるのに必要なストローは10本です。

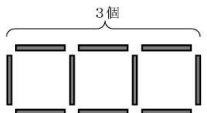


図2

次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 正方形を5個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。

(2) 図3のようにストローを囲むと、正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数は、次の説明1のように説明できます。

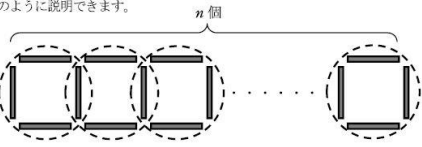


図3

説明1

ストローを図3のように囲むと、1つの囲みにストローが4本ある。その囲みが n 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $4n$ 本になる。このとき、2回数えているストローが $(n-1)$ 本あるので、必要なストローの本数は $4n$ より $(n-1)$ 本少ない。したがって、正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $A = 3n+1$ になる。

アにあてはまる式を、 n を用いて表しなさい。

(3) 図4のように囲み方を変えてみると、正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数は、 $3n+1$ という式で表すことができます。正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式が $3n+1$ になる理由について、下の説明2を完成しなさい。

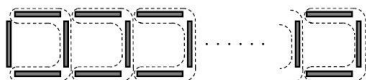


図4

説明2

ストローを図4のように囲むと、
(解答用紙に書きなさい)

したがって、正方形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は $3n+1$ になる。

【正答例】 (1) 16本 (2) $4n - (n-1)$ (3) 1つの囲みにストローが3本ある。その囲みが n 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $3n$ 本になる。このとき、左端に囲まれていないストローが1本あるので、必要なストローの本数は $3n$ より1本多い。

正答率：(1) 85.8%、(2) 32.5%、(3) 43.1%

(中学校2年生)

- 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

9 (2) 表2は、51人分の記録から平均値、中央値、最頻値を求めたものです。光さんは、51人の記録を大きい方から順に並べたとき、自分の記録が26番までに入っているか、表2の代表値を使って調べました。

次のア、イから正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいこと理由を、表2の代表値を使って説明しなさい。

ア 26番までに入っている。 イ 26番までに入っていない。

表2

平均値 (m)	14.8
中央値 (m)	16
最頻値 (m)	14

【正答例】 中央値が16mより、投げた記録の大きいほうから26番目の人の記録が16mということになる。光さんの記録は15mであるから、その値より小さいため、26番までに入っていない。

正答率：30.4%

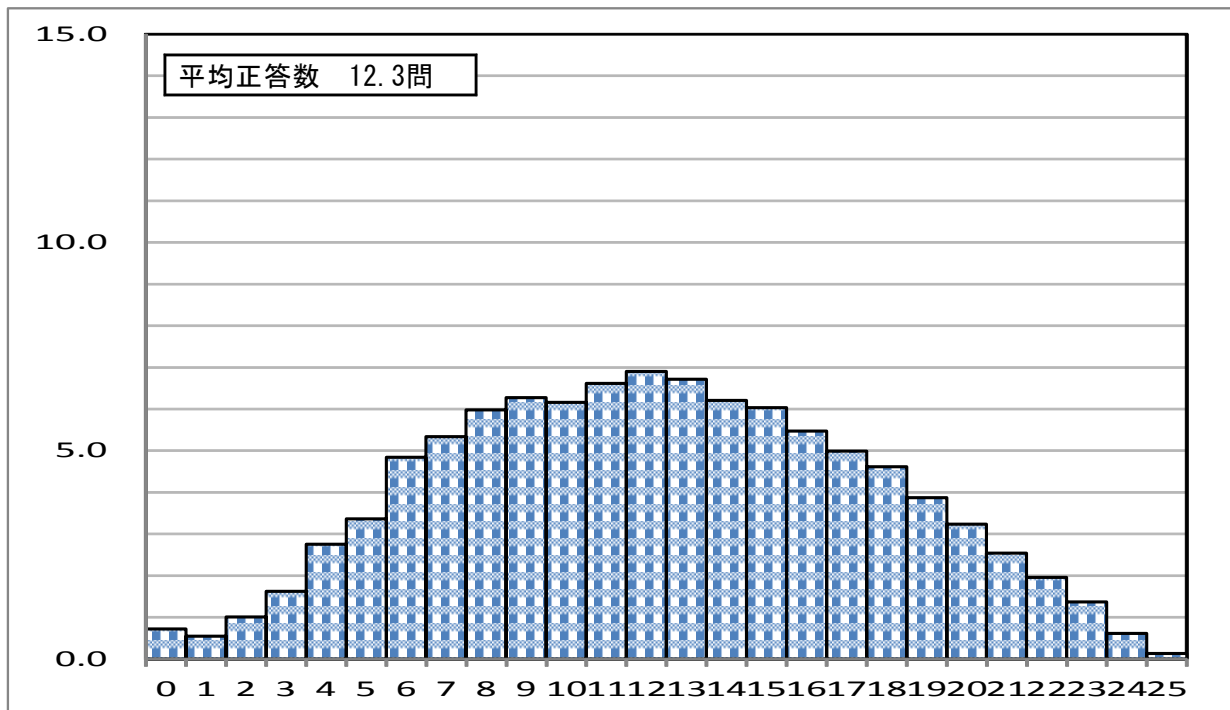
(3) 社会

【第2学年】

実施生徒数	10,481 人
設問数	25 問
平均正答率	49.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	53.2
	主として「活用」	14	45.4
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	2	63.9
	世界各地の人々の生活と環境	3	71.1
	世界の諸地域	3	25.8
	世界のさまざまな地域の調査	1	39.8
	日本の地域構成	2	37.3
	世界と比べた日本の地域的特色	2	55.9
	歴史のとらえ方	4	65.3
	古代までの日本	3	35.9
	中世の日本	4	42.1
	近世の日本	1	46.9
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	8	38.2
	資料活用技能	6	57.6
	社会的事象についての知識・理解	11	52.5
問題形式	選択式	15	61.9
	短答式	5	34.7
	記述式	5	25.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 写真や資料から必要な情報を正しく読み取ることに成果が見られる。
 - ・写真や資料から温帯の特色を読み取ること (2)(1)88.3%
- 時代ごとの主な人物や出来事を理解することに成果が見られる。
 - ・時代ごとの主な人物を理解すること (7)(2)74.6%
 - ・豊臣秀吉が行った政策を理解すること (9)(3)75.3%
- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。
 - ・資料からヨーロッパの諸国がEUに加盟している理由について、説明することができ。 (3)(3)12.1%
- 示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明することに課題が見られる。
 - ・藤原氏が勢力を伸ばした理由を説明すること (9)(1)19.2%
- 記述式問題に課題が見られる。
 - ・日本との時差をもとに、現地時間を求め、求め方を説明すること (中2) (5)(2)13.5%
 - ・日明貿易で勘合が使われた目的を説明すること (中2) (8)(1)35.3%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

社会 【中学校2年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。

③ (3) ヨーロッパの多くの国がEUとして結びついている理由を、資料2をもとにして、文中の(い)に合うように述べなさい。
 <会話文は略>

資料2	面積(万km ²)	人口(億人)	GDP(兆ドル)
EU (加盟国合計)	432.6	5.1	16.4
アメリカ	983.3	3.3	19.4
中国	960.0	13.9	11.2

【正答例】
 (3) 一つ一つの国の面積が小さく、人口も少ないため、複数の国がまとまって、アメリカや中国などの経済大国に対抗する。

正答率：12.1%

- 示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明することに課題が見られる。

⑨ (1) 下線部①について、京都に都があった平安時代は、藤原氏が政治の実権をにぎっていた。資料5を参考に、藤原氏が実権を握ることができた理由を述べなさい。

【正答例】
 (1) 娘を天皇の后にして、生まれた子どもを次の天皇にしたから。

資料5

正答率：19.2%

- 記述式問題に課題が見られる。

⑤ (2) 資料3の空欄に当てはまる、ジョンさんがアメリカのロサンゼルスに到着した時の現地の日時を、午前・午後を明確にして答えなさい。解答欄には、どのように考えて答えたか、途中の計算を含めて説明すること。

資料3

【行き先】アメリカのロサンゼルス(西経120度が標準時)
 【行き方】

- ・岩国錦帯橋空港を1月1日午前9:20に出発(国内線)
- ・羽田空港に午前10:55に到着
- ・羽田空港から成田空港まで電車で移動
- ・成田空港に午後1:30に到着
- ・アメリカに向けて、成田空港を同日の午後4:20に出発(国際線)ー9時間50分ほど飛行機に乗るー
- ・アメリカのロサンゼルスに、現地時間の(月 日 時 分)に到着

【正答例】
 (2) アメリカのロサンゼルスは、西経120度なので、日本の標準時子午線とは255度の差がある。15度で1時間の時差があるため、255度で時差は17時間となる。成田空港を午後4時20分に出発した時、現地時間は17時間前の12月31日午後11時20分となる。9時間50分ほど飛行機に乗るので、これを加えると1月1日午前9時10分となる。

正答率：13.5%

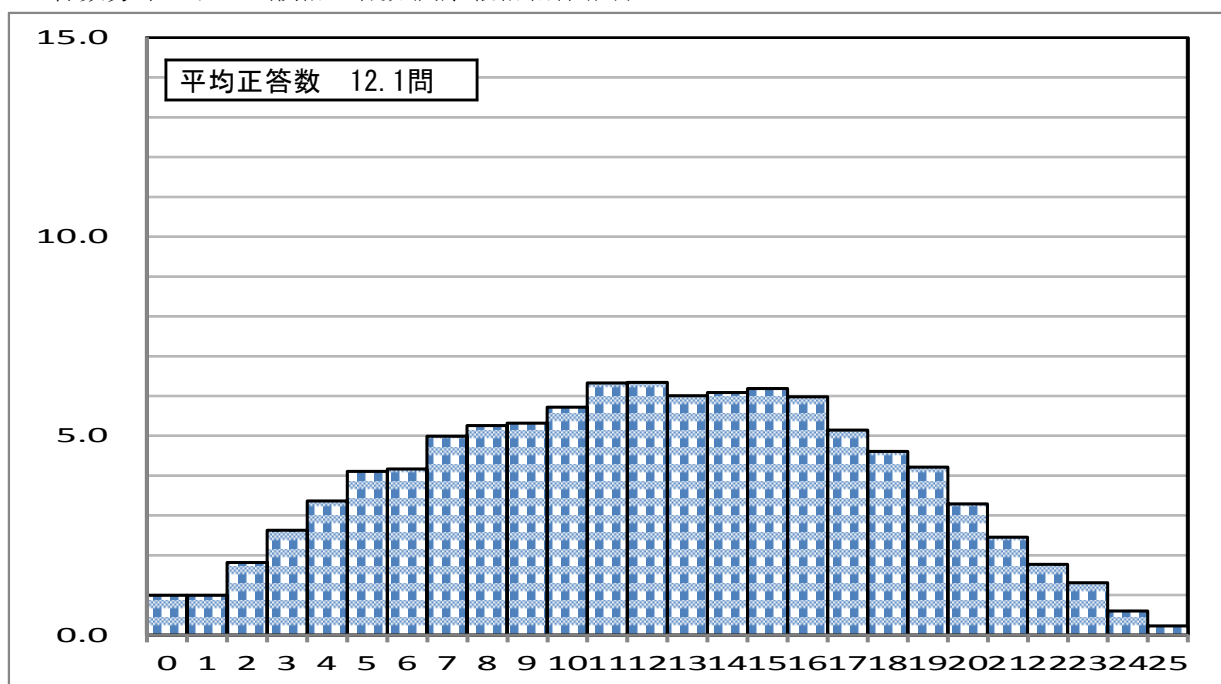
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,414 人
設問数	25 問
平均正答率	48.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	51.4
	主として「活用」	6	38.9
学習指導 要領の 領域等	物質	9	47.9
	エネルギー	3	51.1
	生命	7	57.8
	地球	6	36.7
評価の 観点	科学的な思考・表現	9	44.7
	観察・実験の技能	5	46.5
	自然事象についての知識・理解	11	52.2
問題形式	選択式	8	46.8
	短答式	10	57.0
	記述式	7	37.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 植物に関する基本的な用語を理解することに成果が見られる。
 - ・葉の内部の細胞の中に見られる緑色の粒が葉緑体であることを理解すること (1)(2)91.8%)

- 物質の識別方法とその結果の見取り方を理解することに課題が見られる。
 - ・炭酸水素ナトリウムが熱分解されると気体が発生することについて説明できること (2)(2)23.9%)
 - ・石灰岩とチャートを識別する方法を理解すること (6)(2)19.1%)

- 火成岩やたい積岩の特徴を理解することに課題が見られる。
 - ・火成岩の組織の違いを理解すること (6)(1)30.1%)
 - ・示準化石の定義とその生物が生きていた時代について理解すること (6)(3)26.3%)

- 学習内容と身の回りの生活との関連を認識することに課題が見られる。
 - ・化学かいろが酸化による発熱反応を利用していることを理解すること (7)(3)25.6%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【中学校2年生】

● 物質の識別方法とその結果の見取り方を理解することに課題が見られる。

6 図1は、ある地域の地表に現れた地層を観察した結果を示した模式図である。(1)～(3)の間に答えなさい。

図1

図2

(2) 地層に含まれる、生物の遺骸でできた堆積岩がチャートではなく石灰岩であることを確かめたい場合、どのような方法で調べ、どのような結果であれば石灰岩といえるか。その方法と結果を答えなさい。

【正答例】
 方法 (うすい) 塩酸をかける。
 結果 二酸化炭素(気体)が発生する。

正答率：19.1%

● 学習内容と身の回りの生活との関連を認識することに課題が見られる。

7 化学かいろのしくみについて調べるため、図1のように3種類の物質(鉄粉、活性炭、食塩水)をよく混ぜ合わせ、5分ごとに混ぜ合わせたものの温度を測定した。次のグラフはそのときの温度変化を表している。(1)～(3)の間に答えなさい。

図1

時間 [分]	温度 [°C]
0	30
5	72
10	68
15	58

(3) 市販の化学かいろの包装を開けてしばらく置くと、化学かいろは温かくなる。この理由を「化学かいろの包装を開けると、」の言葉に続けて、簡潔に説明しなさい。

【正答例】
 化学かいろの包装を開けると、鉄粉が酸素とふれあって化学反応が起こり、熱を周囲に出すから。

正答率：25.6%

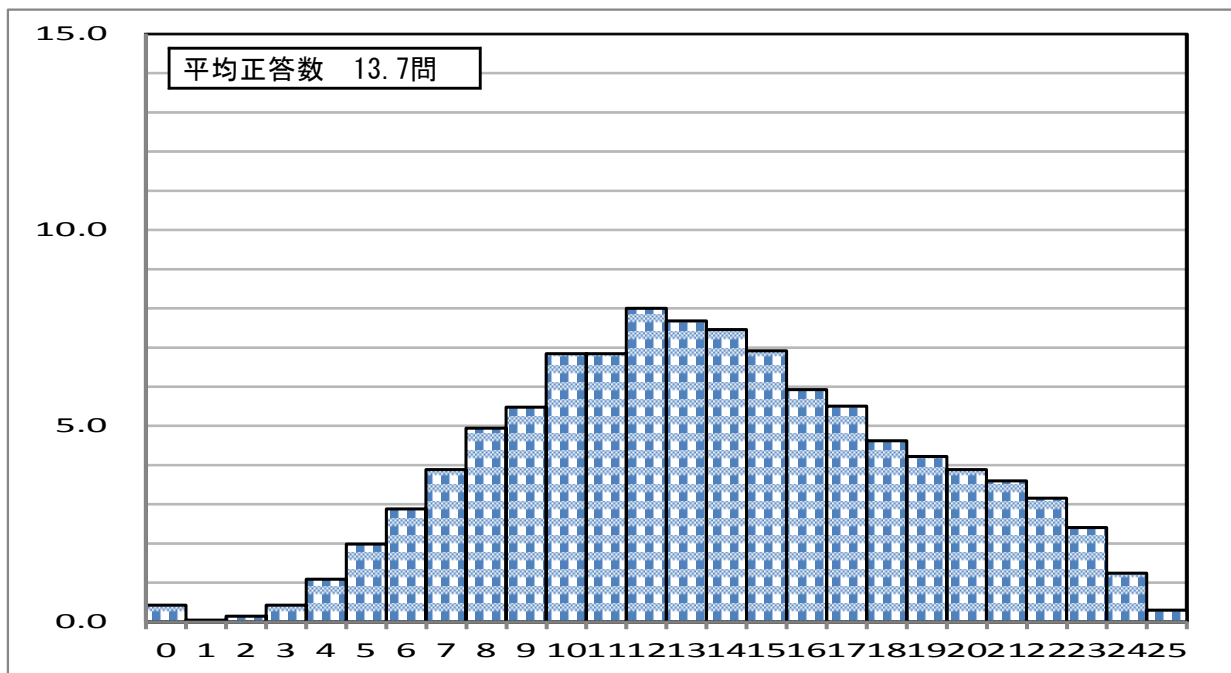
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,418 人
設問数	25 問
平均正答率	54.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	64.3
	主として「活用」	6	23.8
学習指導 要領の 領域等	聞く	8	83.0
	読む	11	50.8
	書く	6	23.8
評価の 観点	表現	6	23.8
	理解	16	69.1
	言語・文化	3	38.8
問題形式	選択式	16	67.7
	短答式	3	46.2
	記述式	6	23.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
 - ・絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)97.7%
- 英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
 - ・英語で書かれたチラシを読み取り、昼食を食べることができる場所を尋ねる疑問文に答えること (5)86.8%

- 文脈に合うように内容を考えて、英文を書くことに課題が見られる。
(場面に応じた表現)
 - ・カバンをどのように手に入れたのかを尋ねる英文を書くこと (7)15.5%
 - ・習字教室に一緒に行ってもよいか許可を求める英文を書くこと (7)25.8%
- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で質問に答えることに課題が見られる。
 - ・メール文の内容を読み取り、相手の国で新学期が始まる月を答えること (8)23.6%
- 条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書くことに課題が見られる。
 - ・メール本文中の“Many friends asked me about my stay in Japan.”という英文の前後を読み取り、メールの書き手が友人から尋ねられたと思われる質問を英語で書くこと (8)23.0%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 文脈に合うように内容を考えて、英文を書く。

7 次のそれぞれの対話文の（ ）に合う3語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(1) 【場面】 ナツミは登校中にALTのブラウン先生に会いました。

Mr. Brown: Hello, Natsumi. You *look happy.

Natsumi: Look! This is my new bag.

Mr. Brown: Nice bag! ()?

Natsumi: Well, my *aunt *gave it to me. Yesterday was my birthday.

Mr. Brown: Oh! Happy birthday, Natsumi!

(注) look : ~のように見える aunt : おばさん gave : 贈った

【正答例】 Where did you get (buy) it / How did you get it / Who gave it to you など

正答率 : 15.5%

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で質問に答える。

8 次は、ニュージーランドに帰国したキャシーがクラスメートだったユウジに書いたメールです。メールを読んで、下の問いに答えなさい。

*Date : February 1, 2018 (Thursday)

*Subject : I'm in *New Zealand!

Hi, Yuji. How are you?

School started last week. I study Japanese every day. In the first Japanese class, I talked about Japan and my school *life in Japanese. I *said to my friends, "Nihon no minasan wa totemo shinsetsu desu." My friends were very *surprised at my Japanese.

(a) Many friends asked me about my stay in Japan.

*By the way, how was your *trip last week?

Where did you go? What did you do there with your family? Please tell me!

Can you *send me some pictures of the trip?

*Best,

*Cathy

(2) ニュージーランドの新学期が始まるのは何月か、英語で答えなさい。

【正答例】 January

正答率 : 23.6%

3 設問別正答率一覧

平成30年度 学力定着状況確認問題 出題の趣旨一覧表

小学校第4学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	68.8
	主として「活用」に関する問題	4	24.1
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	47.4
	書くこと	5	31.2
	読むこと	7	61.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	71.8
評価の観点	話す・聞く能力	3	47.4
	書く能力	3	31.2
	読む能力	4	61.0
	言語についての知識・理解・技能	10	71.8
問題形式	選択式	5	62.5
	短答式	9	73.9
	記述式	6	36.7

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○		○		97.5
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○		○		97.5
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○		○		68.1
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○		○		67.3
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○				○			○	○			68.0
1	⑥ 漢字の部首を理解する	○				○			○		○		71.9
1	⑦ 漢字の総画を理解する	○				○			○		○		91.5
1	⑧ ローマ字を正しく読む	○				○			○		○		49.3
2	⑨ 目的に応じて、中心となる語を捉える	○				○			○		○		89.2
2	⑩ 要点をメモしていることについて捉える	○	○				○			○			84.3
2	⑪ 文のつながりに注意して、文を正しく直す	○				○			○		○		61.2
2	⑫ 目的に応じて、質問をする		○	○	○		○					○	33.3
3	⑬ 前後の文脈から、適切な接続語を選択する	○			○	○			○	○			45.9
3	⑭ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○				○			○			○	62.4
3	⑮ 目的に応じて、中心となる段落を捉える	○				○			○				59.4
3	⑯ 文章を引用して書く		○	○	○		○					○	11.1
4	⑰ 目的に応じて、意見を述べる		○	○	○		○					○	24.5
4	⑱ 目的に応じて、資料を選択する	○			○			○		○			54.9
4	⑲ 資料を関連付けて読み、適切な見出しを付ける	○			○			○			○		32.9
4	⑳ 目的に応じて感想を書く		○	○	○		○					○	27.5

小学校第4学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	63.7
	主として「活用」に関する問題	7	46.1
学習指導要領の領域	数と計算	7	67.3
	量と測定	3	70.5
	図形	3	40.8
	数量関係	7	49.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	9	51.6
	数量や図形についての技能	9	72.0
	数量や図形についての知識・理解	2	19.1
問題形式	選択式	2	61.4
	短答式	13	63.5
	記述式	5	40.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	繰り下がりのある3位数-2位数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○			82.8
1 (2) ②	3位数×2位数の整数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.2
1 (3) ③	3位数÷1位数の除法の計算をすることができる	○	○					○			○			70.9
1 (4) ④	整数と小数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			80.3
1 (5) ⑤	同分母分数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○			91.2
2 ⑥	重さを測定することができる	○		○				○			○			92.7
3 ⑦	数直線上の数を分数であらわすことができる	○	○						○		○			12.7
4 (1) ⑧	示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りのとり方を考えることができる	○			○				○		○			45.9
(2) ⑨	変わり方の様子が分かりやすい理由を根拠を明らかにして記述できる		○		○			○				○		12.4
5 ⑩	乗法の場面を、□を使った式に表すことができる	○			○				○		○			25.4
6 (1) ⑪	除法を活用して、基準量の半分の長さを求めることができる		○		○			○			○			57.7
(2) ⑫	比較量が基準量の何倍かを求めるために適した除法の式を選ぶことができる		○		○			○			○			63.1
7 ⑬	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述できる		○		○			○				○		19.6
8 ⑭	示された半円から、円の中心を求めることができる	○			○				○		○			59.8
9 ⑮	余りの処理の仕方を記述できる		○	○					○			○		62.1
10 ⑯	地図上の2つの道のりの長さを比較して、長短を判断することができる		○		○				○			○		65.2
11 (1) ⑰	問題場面を線分図に表すことができる	○			○			○			○			82.9
(2) ⑱	加法の順思考と加法の逆思考を組み合わせた問題を解くことができる	○			○			○			○			58.9
12 ⑲	分度器を用いて180°よりも大きい角の大きさを測定することができる	○		○					○		○			53.4
13 ⑳	円の半径の求め方を長方形の横の長さから考え、記述できる	○			○			○				○		42.9

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	66.9
	主として「活用」に関する問題	3	33.1
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	64.2
	書くこと	4	37.1
	読むこと	6	60.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	74.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	64.2
	書く能力	4	37.1
	読む能力	5	60.3
	言語についての知識・理解・技能	8	74.2
問題形式	選択式	10	70.4
	短答式	6	61.8
	記述式	4	40.2

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○		○			97.7
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○		○			92.7
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○		○			60.7
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	○				○				○	○				84.8
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○				○				○	○				68.4
1	⑥ ローマ字を正しく書く	○				○				○		○			49.9
1	⑦ 国語辞典の正しい使い方を理解する	○				○				○	○				65.4
1	⑧ 慣用句の意味を理解する	○				○				○	○				74.0
2	⑨ 話し合いの参加者として、発言の意図を捉える	○		○				○						○	61.3
2	⑩ 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える	○		○				○				○			77.4
2	⑪ 話し手の意図を捉えながら聞き、的確に質問をする		○	○				○						○	54.0
3	⑫ 段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解する	○			○					○		○			84.5
3	⑬ 目的に応じて、文章の内容を的確に読み取り、中心となる語や文を捉える	○			○					○			○		35.0
3	⑭ 文章全体の構成を的確に捉える	○			○					○		○			49.5
4	⑮ 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える	○			○				○			○			67.9
4	⑯ 目的や意図に応じて、文章の書き方を工夫する	○			○				○				○		35.0
4	⑰ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く		○	○					○					○	28.9
5	⑱ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○			○					○		○			63.0
5	⑲ 目的に応じて、複数の文章を選んで読む	○			○					○		○			69.6
5	⑳ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読む		○	○	○				○					○	16.5

小学校第5学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	59.3
	主として「活用」に関する問題	5	47.7
学習指導要領の領域	数と計算	9	60.7
	量と測定	5	49.0
	図形	3	58.0
	数量関係	3	38.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	5	47.7
	数量や図形についての技能	12	59.9
	数量や図形についての知識・理解	3	56.7
問題形式	選択式	6	65.9
	短答式	11	58.7
	記述式	3	28.8

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
					数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	① 数を四捨五入して、概数で表すことができる	○	○					○	○					67.3
1	(2)	② 数量を□や△などを用いて表し、その関係を式にすることができる	○				○		○		○				85.5
1	(3)	③ 1/1000にした数を、小数点の位置に着目して求めることができる	○	○					○			○			59.4
2	(1)	④ 整数と小数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.5
2	(2)	⑤ 小数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			67.3
2	(3)	⑥ 除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めることができる	○	○					○				○		46.8
2	(4)	⑦ 加法と除法の混合した整数の計算をすることができる	○	○					○			○			67.7
3	(1)	⑧ 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線に表すことができる	○	○							○	○			61.1
3	(2)	⑨ 1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることを理解することができる	○	○							○		○		44.9
4	(1)	⑩ 直方体の容積を公式を用いて求めることができる	○		○					○			○		51.8
4	(2)	⑪ 体積の違いを筋道を立てて記述できる		○	○				○					○	13.4
5		⑫ 分度器を用いて角の大きさを測定することができる	○		○					○			○		64.6
6		⑬ 基準量と割合を基にして比較量を求めることができる	○	○					○			○			60.0
7		⑭ 合同な三角形をかくために必要な構成要素を理解している	○			○					○	○			64.2
8		⑮ 辺や面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図をかく方法を考えることができる		○		○			○				○		72.3
9		⑯ 円の半径の求め方を長方形の辺の長さから考え、記述できる		○		○			○					○	37.5
10		⑰ 示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りのとり方を考えることができる	○				○			○				○	39.3
11		⑱ 二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	○				○			○			○		37.5
12	(1)	⑲ 問題場面に示された条件を基に、他の正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることができる		○	○				○				○		79.6
12	(2)	⑳ 面積が1cm ² 小さくなることの説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を言葉と式を用いて記述できる		○	○				○					○	35.7

小学校第5学年 社会

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	12	69.8
	主として「活用」に関する問題	8	52.9
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	3	64.5
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	2	76.6
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	0	
	地域の人々の安全を守るための諸活動	3	77.0
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	0	
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	4	54.8
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	5	52.1
評価の観点	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	3	68.0
	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
	社会的な思考・判断・表現	6	51.5
	資料活用の技能	8	67.2
問題形式	社会的事象についての知識・理解	6	69.1
	選択式	9	68.5
	短答式	6	70.0
	記述式	5	45.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)	
				身近な地域や市の地形・土地利用、公共施設などの様子	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	地域の人々の安全を守るための諸活動	地域の古い道具・文化財や年中行事・地域の発展に尽くした先人の具体的事例	県の地形や産業・県内の特色ある地域	我が国の国土の様子と国民生活との関連	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・意欲・態度	資料活用の技能		社会的な事象についての知識・理解
1 (1) ①	地図記号が表している建造物を判断することができる。	○	○										○	○		90.8
1 (2) ②	町の地図から、正しい内容を読み取ることができる。	○	○										○	○		62.3
1 (3) ③	大型ショッピングセンターが大きい道路沿いにある理由について説明することができる。		○	○											○	40.4
2 (1) ④	スーパーマーケットで働く人の様子や工夫について理解している。	○			○								○	○		74.7
2 (2) ⑤	資料をもとに、スーパーマーケットの商品が海外からも運ばれてくることを説明することができる。		○		○								○		○	78.5
3 (1) ⑥	山口県で起こった事件の数をグラフから正確に読み取ることができる。	○				○							○		○	81.4
3 (2) ⑦	町の安全を守るために、警察の人だけではなく、いろいろな人が協力・連携していることを資料から読み取ることができる。	○				○							○		○	65.6
3 (3) ⑧	会話の内容に、必要のない資料を判断することができる。		○			○							○		○	83.9
4 (1) ⑨	山口県の地形図と断面図を重ねて、情報を読み取ることができる。		○										○	○		49.5
4 (2) ⑩	縮尺を理解し、山口県の地図を見て、実際の距離を求めることができる。	○											○	○		68.2
5 (1) ⑪	交通の様子を表した地図から、高速道路や鉄道が多い方位を判断することができる。	○											○		○	63.1
5 (2) ⑫	交通の様子を表した地図から、山口県は海外の国ともつながっていることを条件にあわせて、説明することができる。		○										○		○	38.4
6 (1) ⑬	日本と関わりのある国の名称や位置を理解している。	○											○	○		68.6
6 (2) ⑭	日本の位置を大陸の名称等を活用して、説明することができる。	○											○		○	38.3
6 (3) ⑮	日本の領土の範囲を理解している。	○											○	○		61.3
7 (1) ⑯	日本の気候に関係している季節風について理解している。	○											○	○		80.8
7 (2) ⑰	平均気温と降水量の特徴をもとに、地域を判断することができる。また、日本海側の気候の特徴について、説明することができる。		○										○		○	11.5
8 (1) ⑱	米作りに関わる作業時間に関わる資料を選ぶことができる。	○											○	○		83.0
8 (2) ⑲	米作りについて、自分の考えを確かめるために必要な資料を選択することができる。		○										○	○		64.8
8 (3) ⑳	米の販売方法の工夫を説明することができる。		○										○		○	56.2

小学校第5学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	61.5
	主として「活用」に関する問題	5	49.9
学習指導要領の領域	物質	3	65.3
	エネルギー	7	54.4
	生命	8	60.3
	地球	2	56.0
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	
	科学的な思考・表現	6	50.0
	観察・実験の技能	5	61.8
	自然事象についての知識・理解	9	62.5
問題形式	選択式	11	61.8
	短答式	6	51.0
	記述式	3	62.0

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
						物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	①	目的に応じて予想を設定することができる	○							○	○				93.9
1	(2)	②	変える条件とそろえる条件を判断できる	○							○		○			52.7
2	(1)	③	複数の平面鏡で物に日光を当てると、その場所が暖かくなることを理解している	○						○					○	66.9
2	(2)	④	虫めがねは日光を焦点に集めることを理解している		○					○			○			17.6
3	(1)	⑤	豆電球の明かりがつかない原因として考えられることを予想することができる	○						○			○			41.7
3	(2)	⑥	回路という用語を理解している	○							○		○			46.2
3	(3)	⑦	直列つなぎのつなぎ方を理解している	○							○	○				62.0
4	(1)	⑧	体の曲がるころの用語を理解している	○				○				○	○			83.7
4	(2)	⑨	体の動く仕組みについて理解している	○				○				○	○			64.1
5	(1)	⑩	閉じ込められた空気の体積と押し返す力の関係を理解している	○				○				○	○			63.2
5	(2)	⑪	押し縮められた空気は元の状態に戻ろうとする性質があることを理解している	○				○				○				70.1
5	(3)	⑫	水は圧しても体積は変わらないという水の性質を理解している	○				○				○		○		62.8
6	(1)	⑬	目的に応じて実験の条件を設定することができる		○						○	○				66.9
6	(2)	⑭	インゲンマメが育ってしおれた子葉が、インゲンマメの種子のどの部分にあたるかを理解している	○							○		○			36.4
6	(3)	⑮	インゲンマメが育って子葉がしおれた理由を理解している	○						○			○			47.1
7	(1)	⑯	1日の気温の調べ方を理解している	○					○			○				55.5
7	(2)	⑰	天気と1日の気温の変化を関係付けて考察することができる		○				○						○	56.5
8	(1)	⑱	メダカを入れた水そうを置く場所を理解している	○								○	○			87.2
8	(2)	⑲	メダカのめずとおすの見分け方を理解している	○								○	○			57.5
8	(3)	⑳	対物レンズがどの位置にあるかを理解している	○									○			39.9

小学校第6学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	69.7
	主として「活用」に関する問題	6	34.4
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	81.2
	書くこと	5	33.2
	読むこと	8	48.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	69.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	81.2
	書く能力	3	33.2
	読む能力	6	48.9
	言語についての知識・理解・技能	9	69.5
問題形式	選択式	10	66.8
	短答式	7	59.1
	記述式	3	33.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	①	○					○			○	○		98.9
1	②	○					○			○	○		96.9
1	③	○					○			○	○		46.8
1	④	○					○			○	○		63.9
1	⑤	○					○			○	○		75.4
1	⑥	○					○			○	○		57.2
1	⑦	○					○			○	○		76.4
1	⑧	○					○			○	○		57.4
2	⑨	○		○			○			○	○		83.8
2	⑩	○		○			○			○	○		78.6
2	⑪		○	○	○		○				○		39.3
3	⑫	○			○			○		○	○		66.7
3	⑬		○		○			○			○		31.1
3	⑭	○					○			○	○		52.5
4	⑮		○		○	○			○		○		50.0
4	⑯		○		○	○		○			○		34.0
4	⑰	○			○	○			○		○		64.1
5	⑱		○		○	○		○			○		26.4
5	⑲		○		○				○		○		25.3
5	⑳	○				○				○	○		56.5

小学校第6学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	68.4
	主として「活用」に関する問題	5	43.9
学習指導要領の領域	数と計算	10	66.9
	量と測定	3	51.0
	図形	3	61.4
	数量関係	4	59.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	5	43.9
	数量や図形についての技能	11	72.5
	数量や図形についての知識・理解	4	57.0
問題形式	選択式	6	57.8
	短答式	12	67.6
	記述式	2	43.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	異分母の分数の加法の計算をすることができる	○	○					○			○			69.2
1 (2) ②	小数と分数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			71.7
2 (1) ③	億や万の大きな数を数字で表すことができる	○	○					○			○			82.7
2 (2) ④	小数の除法の計算のきまりを理解している	○	○						○		○			69.3
2 (3) ⑤	計算のきまりを使って、工夫して計算することができる	○	○					○			○			74.7
2 (4) ⑥	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○	○					○			○			68.2
3 ⑦	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	○			○				○	○				35.7
4 (1) ⑧	1に当たる大きさを求める問題場面における数量関係を理解し、数直線に表すことができる	○	○								○	○		74.6
4 (2) ⑨	1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい分数である場合でも除法を用いることができる	○	○								○	○		48.4
5 ⑩	辺や面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図をかく方法を考えることができる		○			○		○			○			57.5
6 ⑪	円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めることができる		○				○				○			52.0
7 ⑫	公式を使って平均を求めることができる	○						○			○			72.3
8 (1) ⑬	直方体の容積を公式を用いて求めることができる	○						○			○			58.2
8 (2) ⑭	体積の違いを筋道を立てて記述できる		○		○			○				○		22.5
9 ⑮	xやyを用いて、数量の関係を式に表すことができる	○				○		○			○			87.7
10 ⑯	比例関係に着目し、正六角形のまわりの長さを求めることができる	○					○		○			○		93.1
11 ⑰	点対称の図形をかくことができる	○					○		○			○		74.7
12 ⑱	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる		○				○				○			23.2
13 (1) ⑲	2000cmで足りるわけを、根拠を明らかにして記述できる	○	○					○				○		64.5
13 (2) ⑳	最大公約数を活用して、切り分ける正方形の大きさが最大になる場合の一辺の長さを求めることができる	○	○					○				○		45.4

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	71.2
	主として「活用」に関する問題	11	63.3
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	58.9
	書くこと	2	52.5
	読むこと	10	69.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	70.7
評価の観点	話す・聞く能力	2	58.9
	書く能力	2	52.5
	読む能力	9	69.1
	言語についての知識・理解・技能	12	70.7
問題形式	選択式	10	73.9
	短答式	12	67.3
	記述式	3	48.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1 一 あ 1)	文脈に即して、適切な語句を選択する (目ざとく)	○				○	○			○					53.7
1 一 い 2)	文脈に即して、適切な語句を選択する (おそるおそる)	○				○	○			○					94.4
1 二 3)	「あどけない」の意味として適切なものを選択する	○					○			○					70.3
1 三 A 4)	文章の展開に即して内容を理解する		○			○				○			○		48.4
1 三 B 5)	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する		○			○				○			○		87.7
1 四 6)	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる		○		○	○			○					○	37.3
2 一 (1)ア 7)	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		89.9
2 一 (1)イ 8)	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		76.5
2 一 (2) 9)	目的に応じて必要な情報を読み取る		○			○				○				○	41.4
2 一 (3) 10)	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○			○				○			○		61.1
2 二 11)	内容を正確に捉えて、該当するもの選ぶ		○			○				○			○		68.5
3 一 (1) 12)	文脈に即して正しく漢字を書く (納める)	○					○			○			○		60.6
3 一 (2) 13)	文脈に即して正しく漢字を書く (成績)	○					○			○			○		44.7
3 一 (3) 14)	文脈に即して正しく漢字を書く (発展)	○					○			○			○		64.3
3 一 (4) 15)	文脈に即して正しく漢字を読む (ほうふ)	○					○			○			○		89.8
3 一 (5) 16)	文脈に即して正しく漢字を読む (さげる)	○					○			○			○		76.5
3 二 (1) 17)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (慣用句 味をしめる)	○					○			○	○				59.0
3 二 (2) 18)	時と場に応じて、適切な敬語を使う (謙譲語 いただく)	○					○			○	○				86.9
3 二 (3) 19)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (ことわざ ねこに小判)	○					○			○	○				74.1
3 三 20)	文脈に即して接続詞を適切に使う	○					○			○	○				73.1
4 一 あ 21)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す	○					○			○			○		63.8
4 二 い 22)	古文 (和歌) 特有のリズムについて指摘する	○					○			○			○		85.2
5 一 23)	司会の果たす役割や進め方を理解する		○	○					○				○		73.3
5 二 24)	話題の要点や話し合いの方向性を理解する		○	○					○				○		44.6
5 三 25)	異なる意見を受け入れながらも、自分の考えをもち話し合いができる		○	○	○				○					○	67.7

中学校第1学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	67.9
	主として「活用」に関する問題	7	54.4
学習指導要領の領域	数と式	15	64.5
	図形	4	60.0
	関数	2	70.1
	資料の活用	3	62.4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	5	47.5
	数学的な技能	14	66.2
	数量や図形などについての知識・理解	5	74.3
問題形式	選択式	6	69.9
	短答式	16	63.3
	記述式	2	51.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1	(1) ① 分数の乗法の計算ができる	○		○						○			○			88.0
	(2) ② 計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○						○			○			72.1
	(3) ③ 指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○		○						○			○			69.4
	(4) ④ 絶対値の意味を理解している	○		○							○					82.0
	(5) ⑤ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○		○							○		○			80.1
	(6) ⑥ 2数の和、差、積、商の符号を理解している	○		○							○	○				54.8
2	(1) ⑦ 整式の減法の計算ができる	○		○						○			○			49.1
	(2) ⑧ 長方形の縦と横の長さの比から、横の長さを求めることができる	○		○						○			○			80.8
	(3) ⑨ 速さ、時間、道のりの関係から、時間を求めることができる	○		○						○			○			70.2
3	(1) ⑩ 商、積、余りの関係を文字式で表すことができる	○		○						○			○			37.3
	(2) ⑪ 基準量を基に比較量を求めることができる	○		○						○		○				43.3
	(3) ⑫ 文字式の意味を、具体的な事象に関連付けて理解している	○		○						○		○				79.3
4	(1) ⑬ 比例の意味を理解している	○			○						○	○				82.9
	(2) ⑭ 比例関係を用いて、具体量を求めることができる		○			○					○		○			57.3
5	(1) ⑮ 展開図から立体を読み取ることができる	○			○					○		○				87.6
	(2) ⑯ 半径の異なる2つ円の円周の長さを比較することができる		○			○					○		○			20.7
6	(1) ⑰ 合同な三角形をかくための条件を理解している	○			○						○	○				71.5
	(2) ⑱ 線対称な図形をかくことができる	○			○						○		○			—
7	⑲ 平行四辺形の面積の求め方を基にして、台形の面積を求めることができる		○			○				○				○		60.1
8	(1) ⑳ 組み合わせについて、落ちや重なりがないように求めることができる	○					○			○			○			68.1
	(2) ㉑ 複数の条件がある組み合わせについて、落ちや重なりがないように求めることができる	○					○			○			○			38.1
	(3) ㉒ 二次元の表を用いて、情報を分類・整理することができる		○				○			○			○			80.9
9	(1) ㉓ 考察の対象になっている数量を明確に捉えることができる		○		○					○			○			85.8
	(2) ㉔ 事象における数量の関係から求めたい数量を式を使って表すことができる		○		○					○			○			32.5
	(3) ㉕ 事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができる		○		○					○				○		43.1

中学校第2学年 国語

分類・区別別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	60.2
	主として「活用」に関する問題	9	57.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	81.3
	書くこと	3	44.0
	読むこと	6	56.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	60.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	81.3
	書く能力	3	44.0
	読む能力	6	56.8
	言語についての知識・理解・技能	14	60.5
問題形式	選択式	13	71.3
	短答式	9	47.0
	記述式	3	44.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	(1) ①	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (至難の業)	○				○			○	○			97.1
1	(2) ②	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (意気揚々と)	○				○			○	○			86.3
1	二 ③	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	○			○			○		○			50.0
1	三 ④	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する		○		○			○				○	41.5
1	四 ⑤	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する		○		○			○		○			77.4
2	一 ⑥	文脈に即して接続詞を適切に使う	○			○			○		○			67.7
2	二 ⑦	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○		○			○			○		49.9
2	三 ⑧	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す		○		○			○			○		29.1
2	四 ⑨	内容を正確に捉えて、該当するもの選ぶ		○		○			○		○			67.1
3	一 ⑩	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す (とふ)	○				○			○		○		74.7
3	一 ⑪	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す (うちをとさん)	○				○			○		○		64.3
3	二 ⑫	口語訳を参考に、原文から会話部分を抜き出す (空の星がほども落ちぬ)	○				○			○		○		19.5
3	三 ⑬	作品の主題や作者の思いを想像して説明する		○		○			○				○	38.3
4	(1) ⑭	文脈に即して漢字を正しく書く (訪問)	○				○			○		○		65.8
4	(2) ⑮	文脈に即して漢字を正しく書く (支持)	○				○			○		○		26.2
4	(3) ⑯	文脈に即して漢字を正しく読む (しゅうとく)	○				○			○		○		37.1
4	(4) ⑰	文脈に即して漢字を正しく読む (いた)	○				○			○		○		56.2
4	二 (1) ⑱	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (慣用句 さじを投げる)	○				○			○	○			66.6
4	二 (2) ⑲	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (ことわざ 弱り目にたたり目)	○				○			○	○			67.9
4	二 (3) ⑳	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (四字熟語 一日千秋)	○				○			○	○			59.8
4	三 ㉑	文節相互の関係について理解している	○				○			○	○			42.1
4	四 ㉒	手紙文の形式について理解している	○				○			○	○			82.6
5	一 ㉓	相手の意図をくみ取り、それを受けた質問ができる		○	○			○			○			75.6
5	二 ㉔	知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問ができる		○	○			○			○			87.0
5	三 ㉕	条件に照らして、目的や相手を意識した表現ができる		○		○			○				○	52.3

中学校第2学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	53.1
	主として「活用」に関する問題	6	40.3
学習指導要領の領域	数と式	12	53.1
	図形	6	35.4
	関数	5	56.7
	資料の活用	2	58.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	4	31.5
	数学的な技能	14	51.6
	数量や図形などについての知識・理解	7	57.6
問題形式	選択式	5	55.4
	短答式	18	51.5
	記述式	2	23.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1) ①	小数と分数の乗法の計算ができる	○		○						○			○			58.2
1 (2) ②	計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○						○			○			73.8
1 (3) ③	数の集合と四則計算の可能性について理解している	○		○							○	○				56.6
1 (4) ④	与えられた場面を解決する式を選ぶことができる	○									○	○				50.0
2 (1) ⑤	整式どうしの減法の計算ができる	○		○						○			○			74.3
2 (2) ⑥	数量を文字式で表すことができる	○		○						○			○			35.6
2 (3) ⑦	等式を目的に応じて変形することができる	○		○						○			○			66.1
2 (4) ⑧	連立方程式を解くことができる	○		○						○			○			57.6
2 (5) ⑨	基準量を求め、文字を使った式で表すことができる	○		○						○			○			50.7
2 (6) ⑩	2桁の自然数を文字式で表すことができる	○		○						○			○			49.7
3 (1) ⑪	与えられた数値を式に代入して式をつくり、つりあう距離をもとめることができる	○				○				○			○			59.5
3 (2) ⑫	比例の関係を式に表すことができる	○				○				○			○			38.2
4	⑬ 反比例の特徴を理解している	○				○					○	○				55.4
5	⑭ 折り目の線分に表れる図形の特徴を理解し、適切な作図方法を選ぶことができる	○				○					○	○				44.1
6 (1) ⑮	円柱の表面積を求めることができる	○				○				○			○			25.1
6 (2) ⑯	90°の回転移動を正しく選ぶことができる	○				○					○		○			54.2
6 (3) ⑰	立方体に見られる線分の位置関係を理解し、線分によって作られる角の大きさを求めることができる	○				○					○		○			55.2
7 (1) ⑱	比例関係にある2つの数量を見いだすことができる		○							○			○			70.8
7 (2) ⑲	比例関係を利用して、必要な数量を求めることができる		○							○			○			59.8
8 (1) ⑳	文字を用いて立体の体積を表すことができる	○				○				○			○			17.7
8 (2) ㉑	立体の体積の大きさの違いを求める方法を説明することができる		○			○				○				○		16.1
9 (1) ㉒	度数分布表を理解している	○					○				○		○			87.4
9 (2) ㉓	判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる		○				○			○				○		30.4
10 (1) ㉔	与えられた情報を適切に処理することができる		○	○							○		○			56.2
10 (2) ㉕	与えられた情報を適切に処理し、立式することができる		○	○						○			○			8.5

中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
問題	主として「知識」に関する問題	5	53.2
	主として「活用」に関する問題	8	45.4
学習指導要領の領域	世界の地域構成	2	63.9
	世界各地の人々の生活と環境	3	71.1
	世界の諸地域	3	25.8
	世界のさまざまな地域の調査	1	39.8
	日本の地域構成	2	37.3
	世界と比べた日本の地域的特色	2	55.9
	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	4	38.2
	資料活用の技能	5	57.6
	社会的事象についての知識・理解	4	52.5
	選択式	8	61.9
問題形式	短答式	3	34.7
	記述式	2	25.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			県全体正答率（％）
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	地図上の緯線・経線について理解している	○	○								○	○				57.7
1 (2) ②	主な大陸の位置関係を理解している	○	○								○	○				70.1
2 (1) ③	写真や資料から亜寒帯（冷帯）の特色を読み取ることができる		○	○							○	○				59.2
2 (1) ④	写真や資料から温帯の特色を読み取ることができる		○	○							○	○				88.3
2 (2) ⑤	雨温図を読み取り、暮らしの様子と関連付けることができる		○	○						○		○				65.9
3 (1) ⑥	資料から読み取った割合をもとにフランスの小麦の生産量を求めることができる		○		○						○		○			39.8
3 (2) ⑦	ヨーロッパの農業の特徴について理解している	○		○							○		○			21.0
3 (3) ⑧	資料からヨーロッパの諸国がEUに加盟している理由について、説明することができる		○		○					○				○		12.1
4 ⑨	アメリカの産業の特色から都市を選ぶことができる		○		○					○		○				44.4
5 (1) ⑩	日付変更線について理解している	○					○				○		○			61.1
5 (2) ⑪	日本との時差をもとに、現地時間を求め、求め方を説明することができる		○				○			○				○		13.5
6 (1) ⑫	資料から、主な鉱産資源の分布について読み取ることができる		○				○				○	○				50.2
6 (2) ⑬	再生可能エネルギーについて理解している	○					○				○	○				61.6

中学校第2学年 社会（歴史的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	7	53.2
	主として「活用」に関する問題	5	45.4
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	4	65.3
	古代までの日本	3	35.9
	中世の日本	4	42.1
	近世の日本	1	46.9
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	
	社会的な思考・判断・表現	4	38.2
	資料活用技能	1	57.6
	社会的事象についての知識・理解	7	52.5
問題形式	選択式	7	61.9
	短答式	2	34.7
	記述式	3	25.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
7 (1) ⑭	古代の時代の流れについて理解している	○	○						○	○				71.0
7 (2) ⑮	時代ごとの主な人物を理解している	○	○						○	○				74.6
8 (1) ⑯	日明貿易で勘合が使われた目的を説明することができる		○		○			○					○	35.3
8 (2) ⑰	聖徳太子が行った政策を理解している	○			○				○	○				64.0
8 (3) ⑱	奈良時代の土地制度に関するきまりを理解している	○			○				○		○			24.3
8 (4) ⑲	時代の名称とその時代の特徴的なできごととを結び付けて理解している		○	○				○			○			48.1
9 (1) ⑳	藤原氏が勢力を伸ばした理由を説明することができる		○		○			○					○	19.2
9 (2) ㉑	応仁の乱について理解している	○			○				○		○			27.2
9 (3) ㉒	豊臣秀吉が行った政策を理解している	○			○				○	○				75.3
10 (1) ㉓	鎌倉時代に起こったできごとを理解している	○			○				○	○				30.5
10 (2) ㉔	資料から幕府が参勤交代を定めた目的を読み取ることができる		○			○		○					○	46.9
10 (3) ㉕	将軍と武士の関係を時代の特徴に結び付けて理解している		○	○				○			○			67.5

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	51.4
	主として「活用」に関する問題	6	38.9
学習指導要領の領域	物質	9	47.9
	エネルギー	3	51.1
	生命	7	57.8
	地球	6	36.7
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	
	科学的な思考・表現	9	44.7
	観察・実験の技能	5	46.5
	自然事象についての知識・理解	11	52.2
問題形式	選択式	8	46.8
	短答式	10	57.0
	記述式	7	37.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	顕微鏡を正しく操作することができる	○			○				○	○				60.4
1 (2) ②	葉の内部の細胞の中に見られる緑色の粒が葉緑体であることを理解している	○			○				○	○				91.8
1 (3) ③	光合成に関わる物質とそれらを取り入れたり、排出したりするしくみを理解している	○			○			○	○					69.0
1 (4) ④	対照実験で変える条件と変えない条件について理解している		○		○			○	○					44.4
2 (1) ⑤	有機物が炭素をふくみ、燃えて二酸化炭素を発生する物質であるということを理解している	○	○						○	○				65.4
2 (2) ⑥	炭酸水素ナトリウムが熱分解されると気体が発生することについて説明できる		○	○				○			○			23.9
2 (3) ⑦	実験結果をふまえて、3種類の物質を特定することができる	○	○					○		○				56.8
3 (1) ⑧	水上置換法が、水にとけにくい気体の捕集に適していることについて理解している	○	○						○			○		56.0
3 (2) ⑨	酸素の性質と確認方法について理解している	○	○						○			○		34.8
3 (3) ⑩	酸素の発生方法について理解している	○	○						○	○				51.2
4 (1) ⑪	力を矢印で表すことができる	○		○					○			○		62.4
4 (2) ⑫	力と圧力の違いを理解している	○		○					○	○				38.4
4 (3) ⑬	圧力と面積の関係について理解している		○	○				○			○			52.6
5 (1) ⑭	地震の波の速さの違いを理解している	○			○				○	○				57.5
5 (2) ⑮	グラフや表の数値を基に地震発生時刻を求めることができる		○		○			○		○				48.2
5 (3) ⑯	震源からの距離と地震の波が伝わった時刻を基に、初期微動継続時間を求めることができる		○		○			○			○			38.7
6 (1) ⑰	火成岩の組織の違いを理解している	○			○				○	○				30.1
6 (2) ⑱	石灰岩とチャートを識別する方法を理解している	○			○				○			○		19.1
6 (3) ⑲	示準化石の定義とその生物が生きていた時代について理解している	○			○				○	○				26.3
7 (1) ⑳	化学かいはら、鉄の酸化を利用していることを理解している	○	○						○	○				51.2
7 (2) ㉑	化学変化と熱の出入りについて理解している	○	○						○	○				66.5
7 (3) ㉒	化学かいはらが鉄の酸化による発熱反応を利用したものであることを理解している		○	○				○				○		25.6
8 (1) ㉓	小腸の柔毛で吸収された栄養分が全身に運ばれるしくみを理解している	○			○				○	○				36.8
8 (2) ㉔	血しょうと組織液の関係について理解している	○			○				○	○				59.0
8 (3) ㉕	細胞呼吸について理解している	○			○			○				○		43.0

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	64.3
	主として「活用」に関する問題	6	23.8
学習指導要領の領域	聞く	8	83.0
	読む	11	50.8
	書く	6	23.8
評価の観点	表現	6	23.8
	理解	16	69.1
	言語・文化	3	38.8
問題形式	選択式	16	67.7
	短答式	3	46.2
	記述式	6	23.8

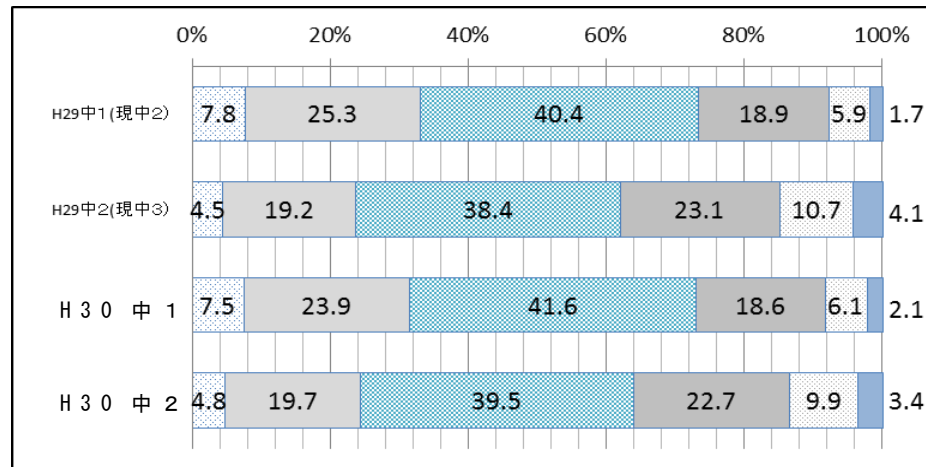
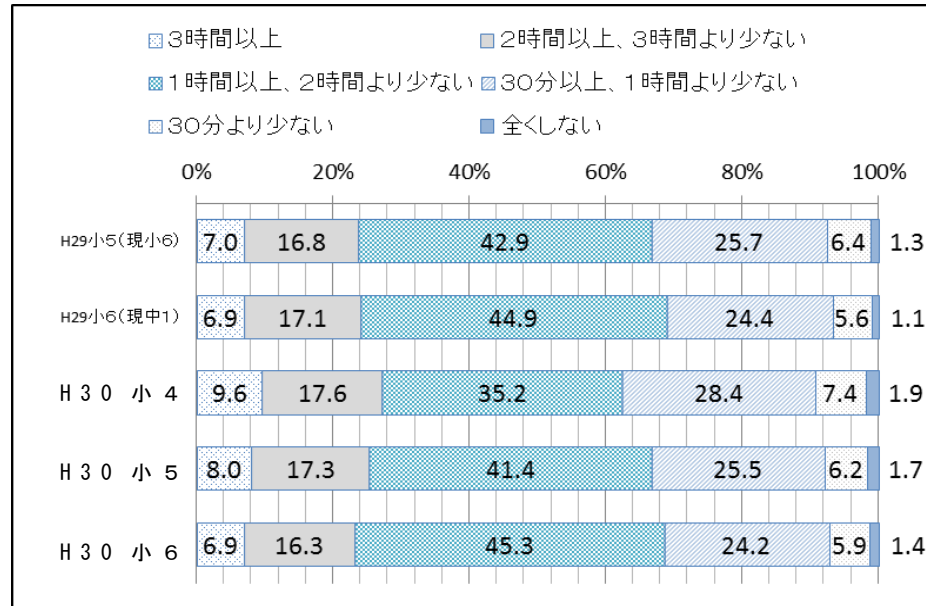
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○				○		○				97.7
1 (2) ②	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○				○		○				90.7
2 (1) ③	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				73.2
2 (2) ④	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				77.9
2 (3) ⑤	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				79.7
3 (1) ⑥	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				77.8
3 (2) ⑦	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				86.1
3 (3) ⑧	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する適切な答えを選ぶ	○	○				○		○				80.6
4 (1) ⑨	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			37.5
4 (2) ⑩	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			57.5
4 (3) ⑪	英文を読み、内容に合う適切な語を選ぶ	○		○					○	○			21.2
5 (1) ⑫	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				86.8
5 (2) ⑬	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				25.7
5 (3) ⑭	英語で書かれた情報を読み取り、空所に入る適切な語を答える	○		○			○		○				48.8
6 (1) ⑮	英文を読み、その内容が適切な順に並べられた答えを選ぶ	○		○			○		○				78.5
6 (2) ⑯	英文の内容から判断して、タイトルとして適切な表現を選ぶ	○		○			○		○				64.0
7 (1) ⑰	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		15.5
7 (2) ⑱	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		27.9
7 (3) ⑲	文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		25.8
8 (1) ア ⑳	英文を読み、その内容に関する質問に答える	○		○			○			○			60.5
8 (1) イ ㉑	英文を読み、その内容に関する質問に答える	○		○			○			○			54.4
8 (2) ㉒	英語で書かれた情報を読み取り、質問に英語で答える	○		○			○			○			23.6
8 (3) ㉓	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		23.0
8 (4) b) ㉔	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		26.2
8 (4) c) ㉕	条件に沿って文脈に合うように内容を考えて、英文を書く		○		○	○					○		24.6

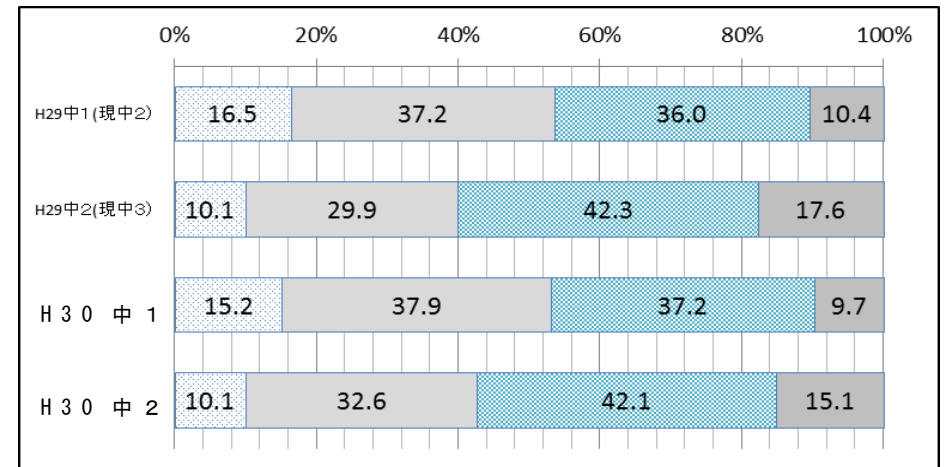
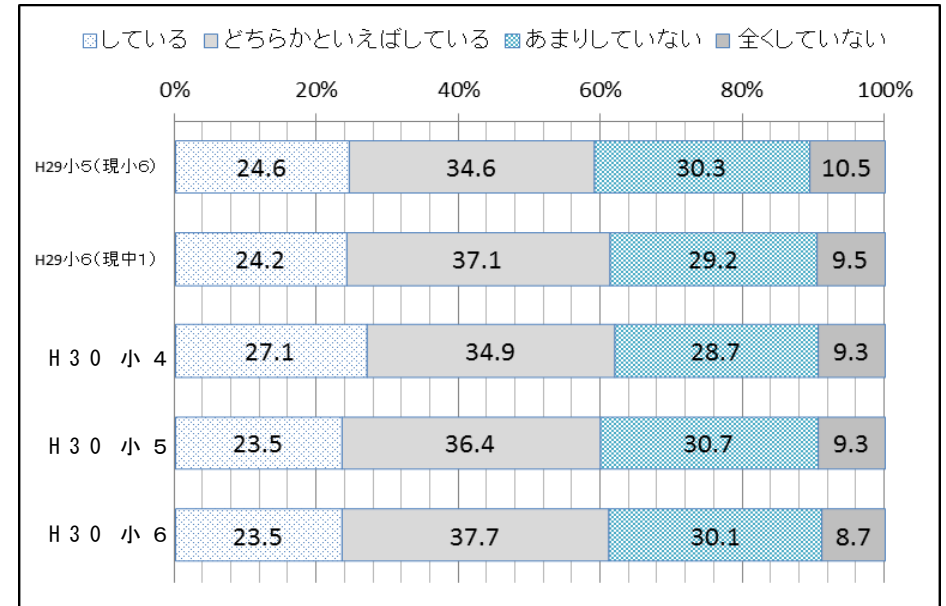
Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果

Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果

【質問①】学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



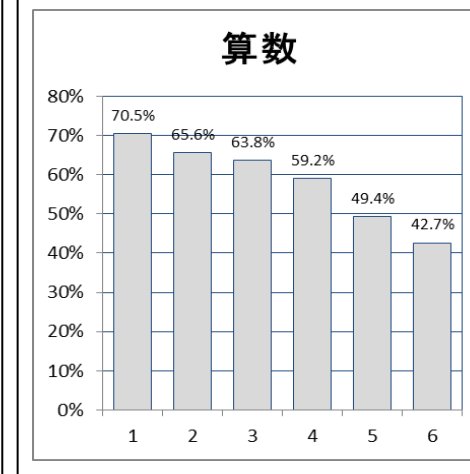
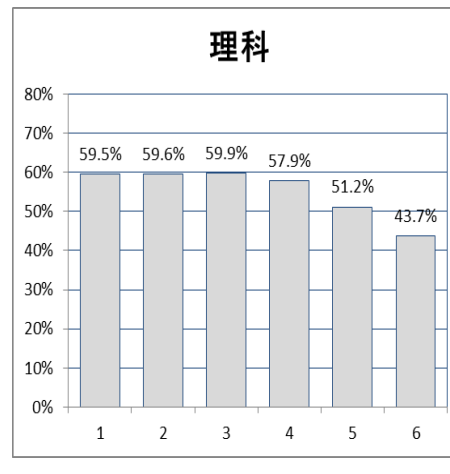
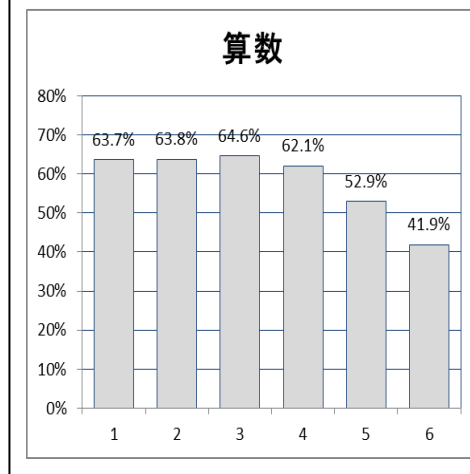
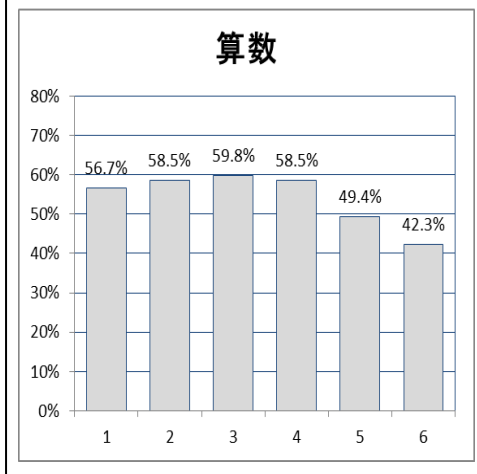
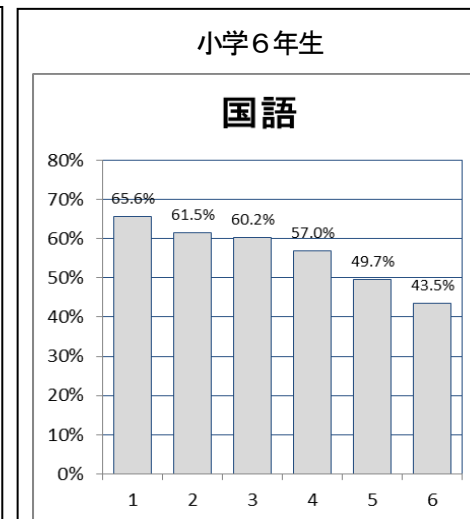
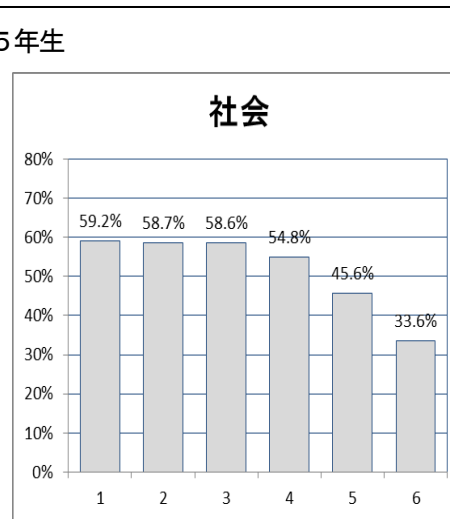
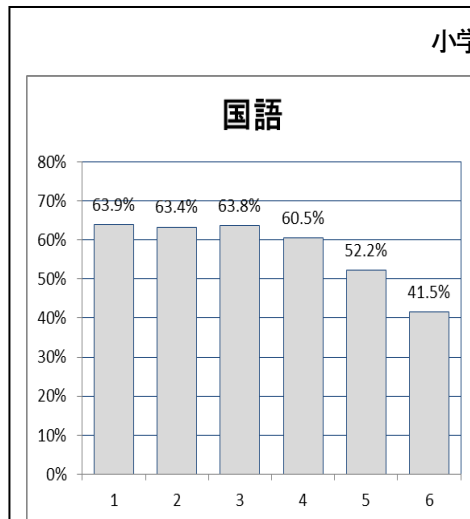
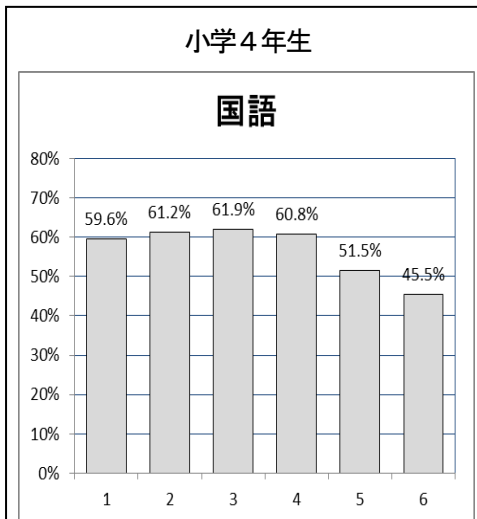
【質問②】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



平成30年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問①】学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 3時間以上 | 2 2時間以上、3時間より少ない |
| 3 1時間以上、2時間より少ない | 4 30分以上、1時間より少ない |
| 5 30分より少ない | 6 全くしない |

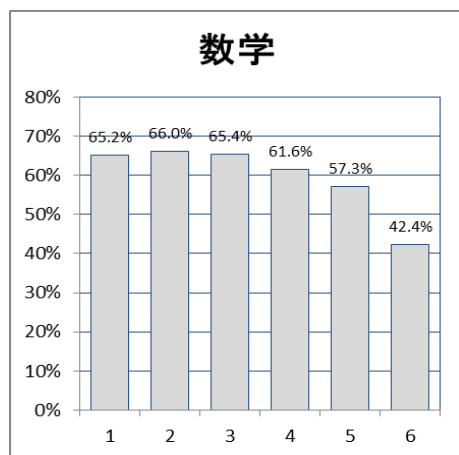
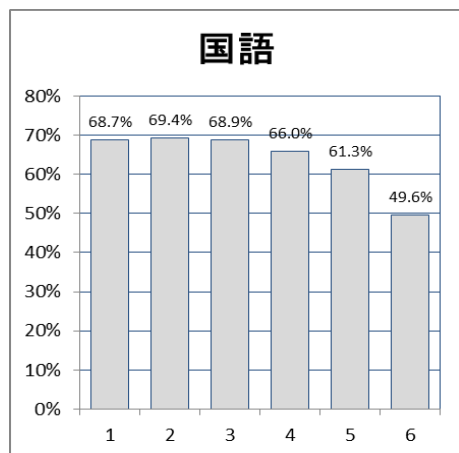


平成30年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

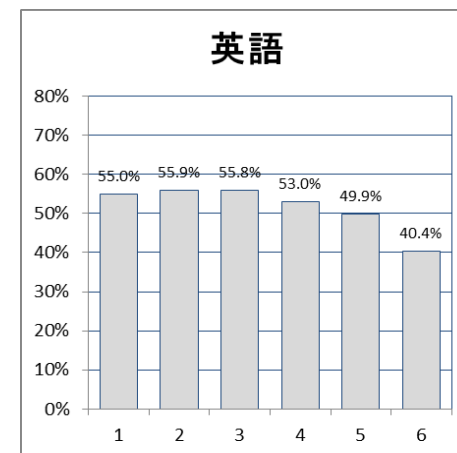
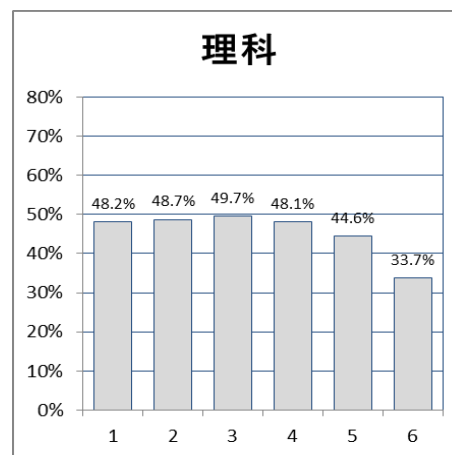
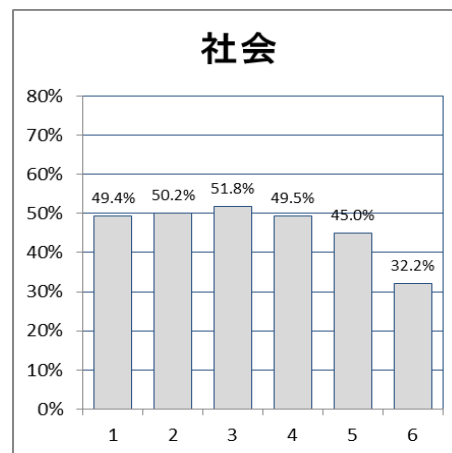
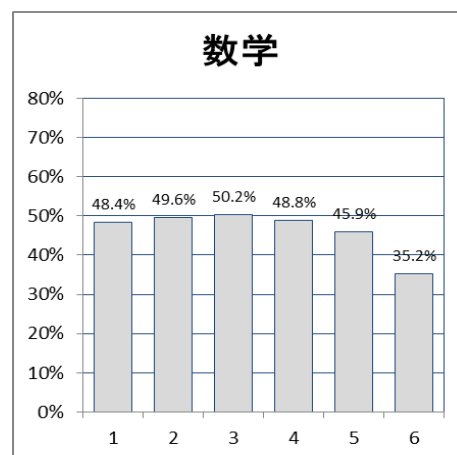
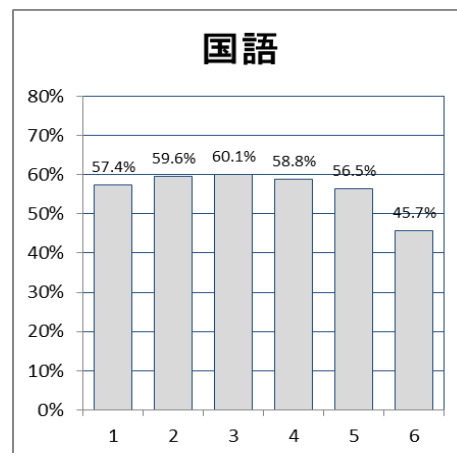
【質問①】学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 3時間以上 | 2 2時間以上、3時間より少ない |
| 3 1時間以上、2時間より少ない | 4 30分以上、1時間より少ない |
| 5 30分より少ない | 6 全くしない |

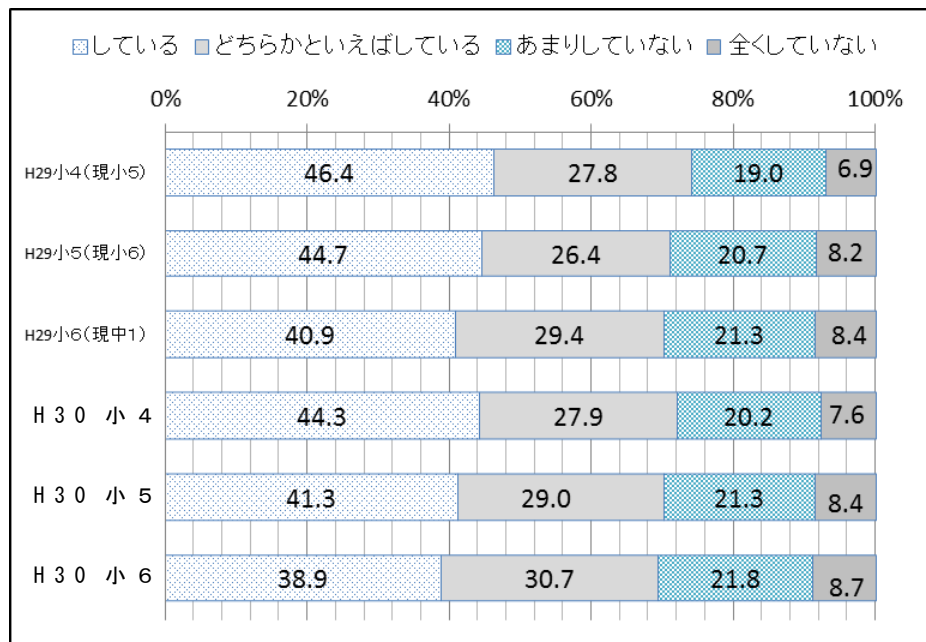
中学1年生



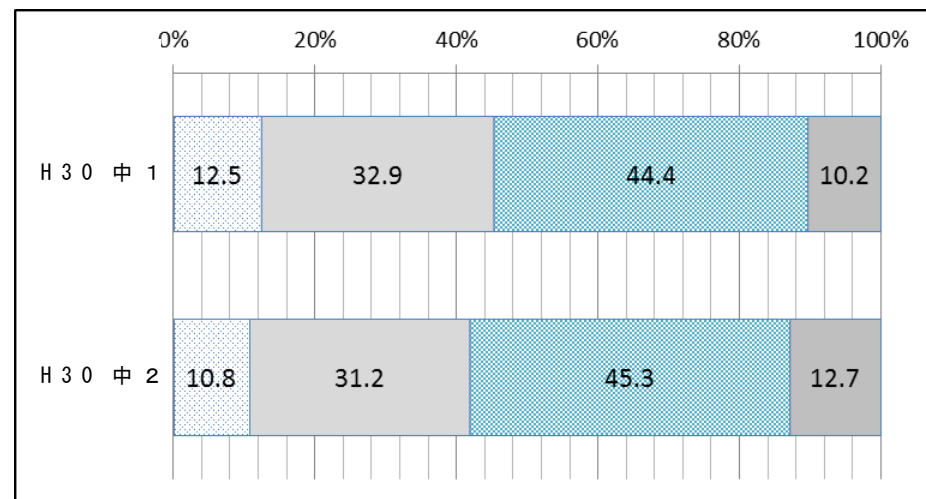
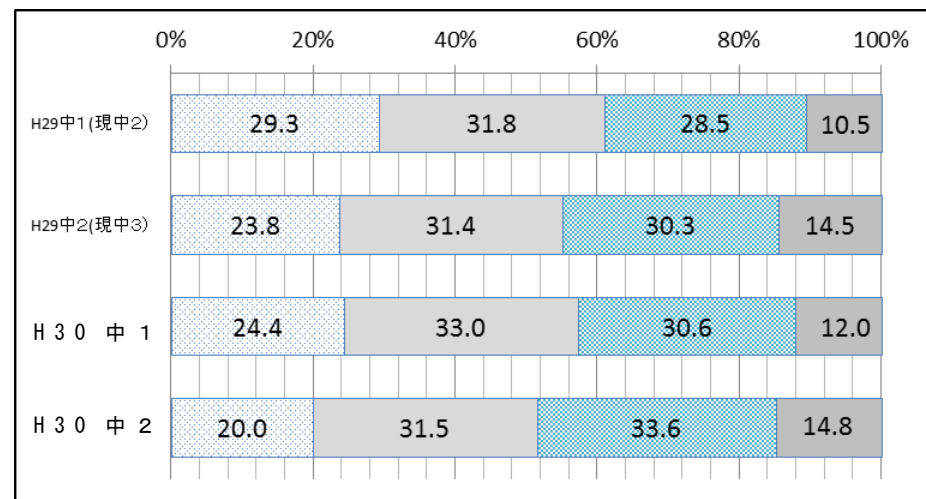
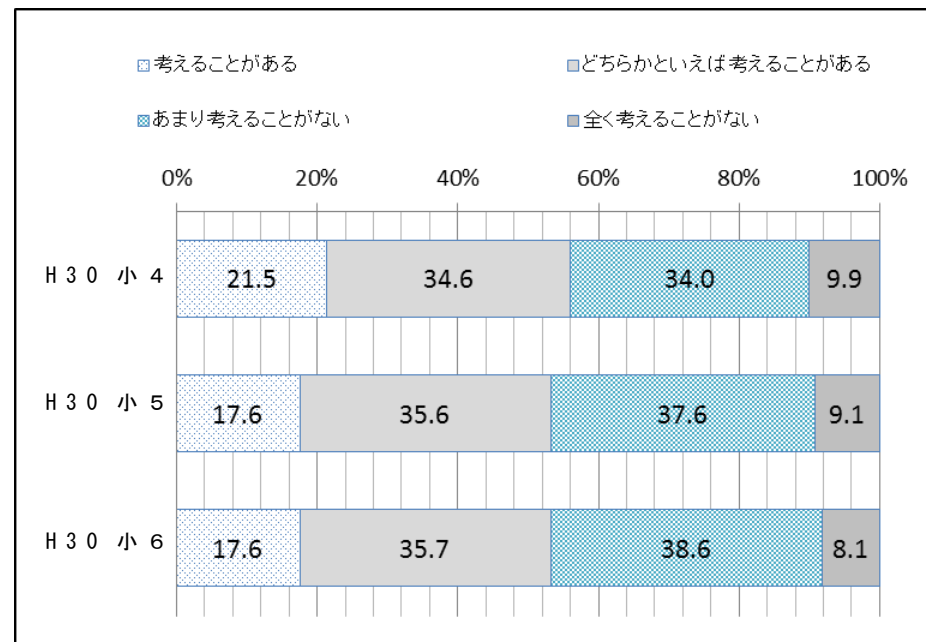
中学2年生



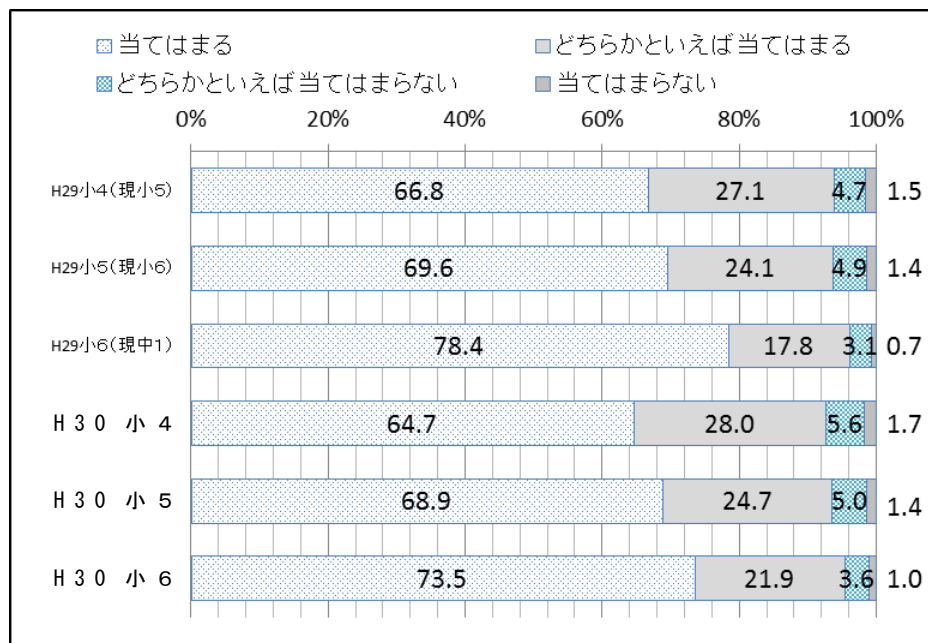
【質問③】今住んでいる地域の行事に参加していますか。



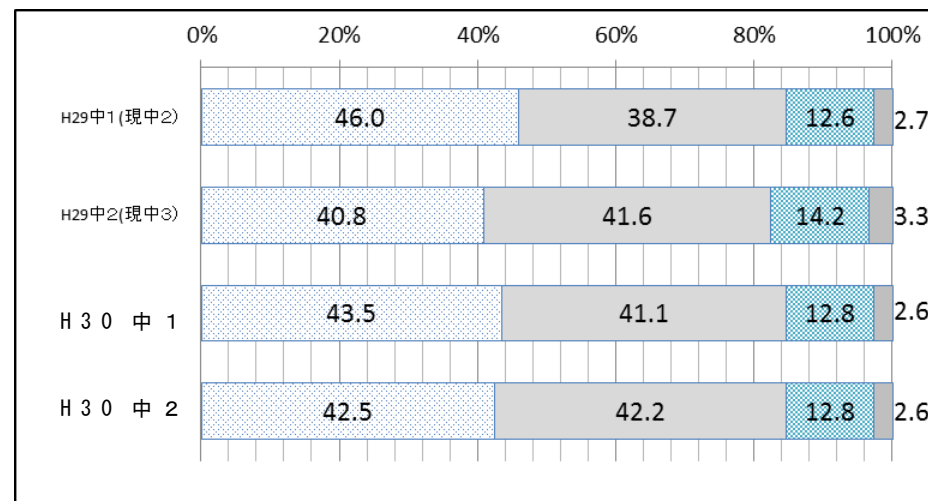
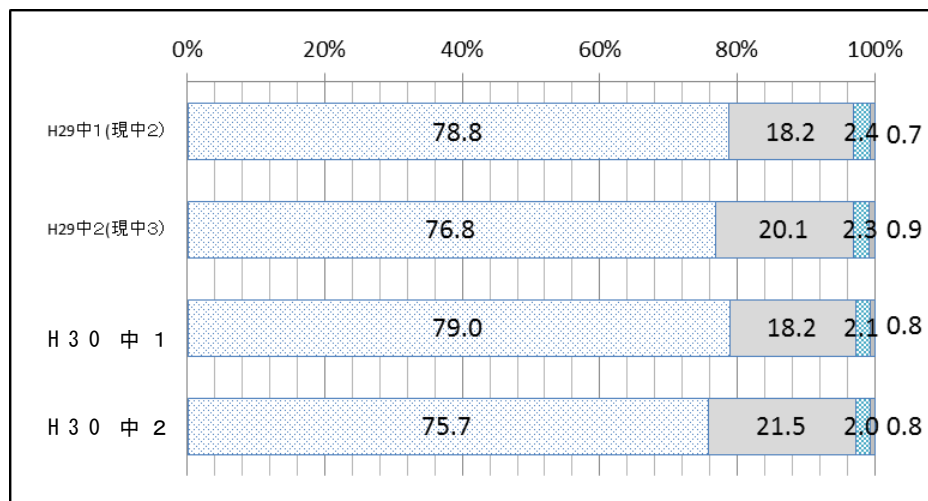
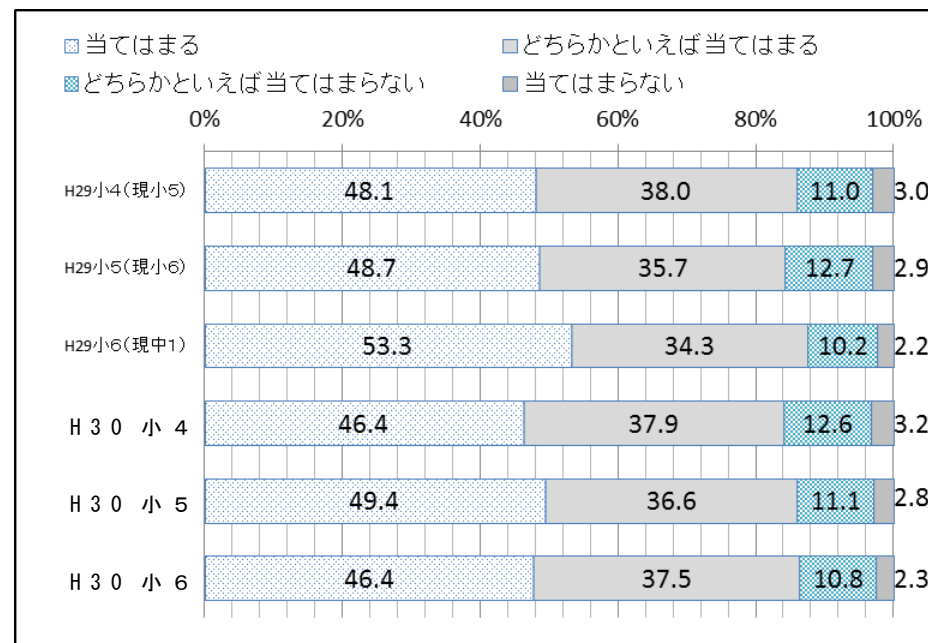
【質問④】地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



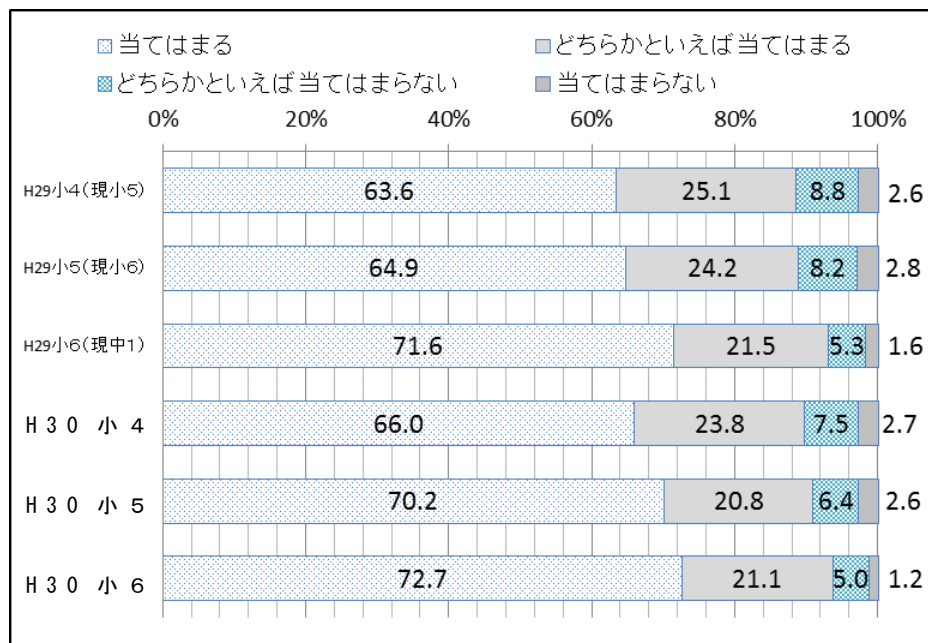
【質問⑤】授業の中で、授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。



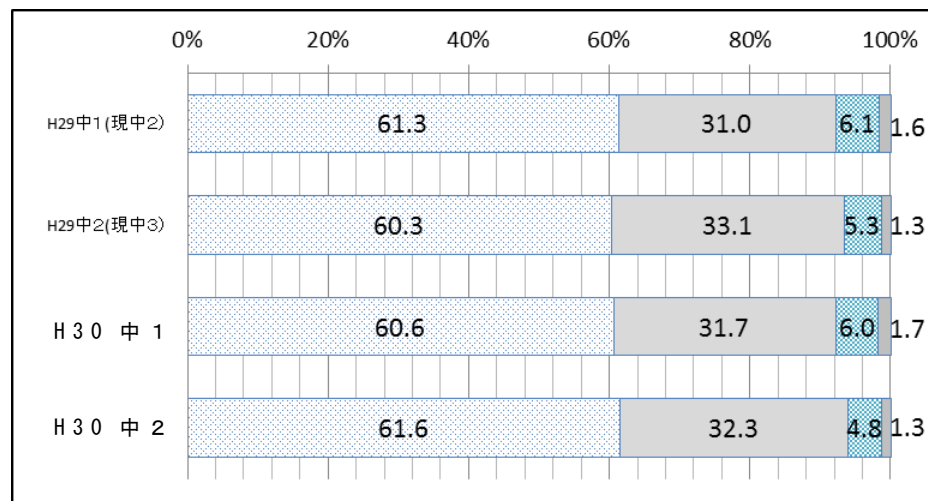
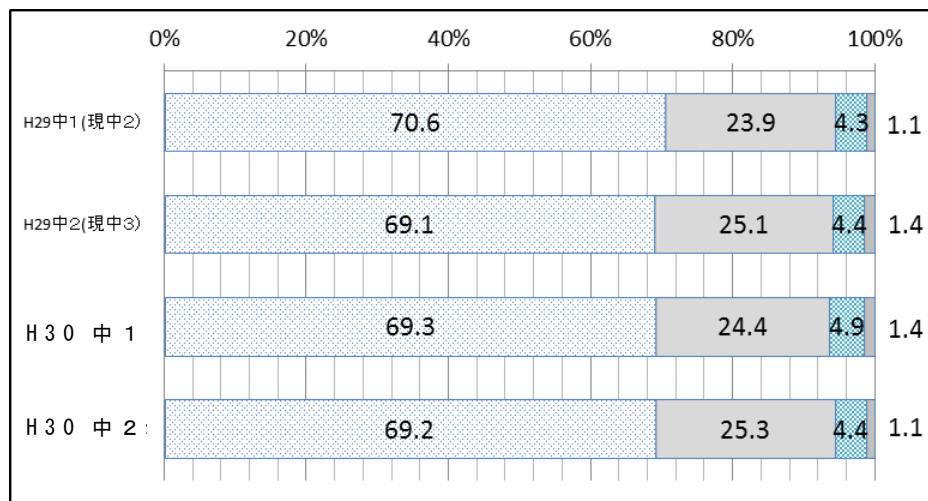
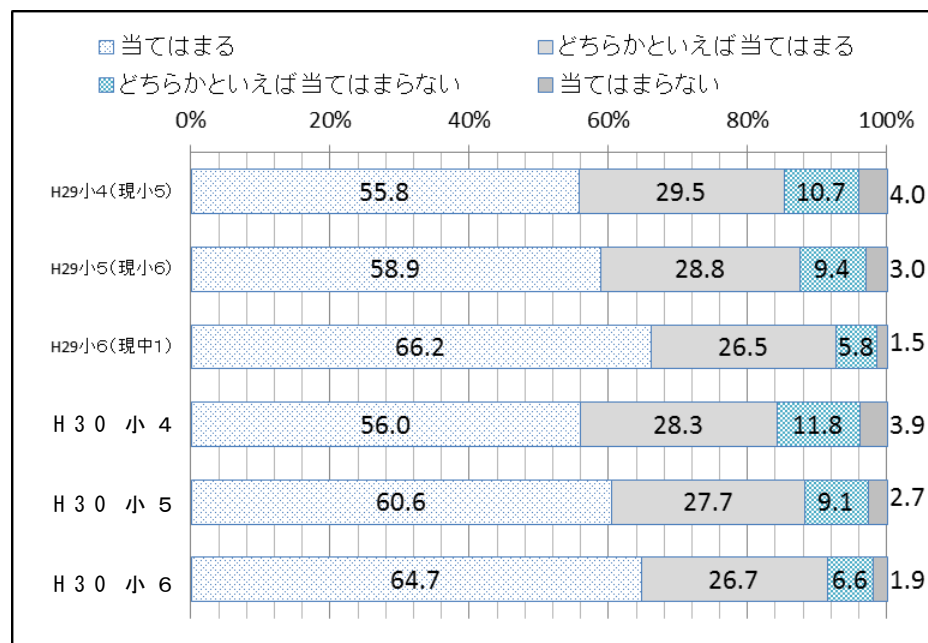
【質問⑥】授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。



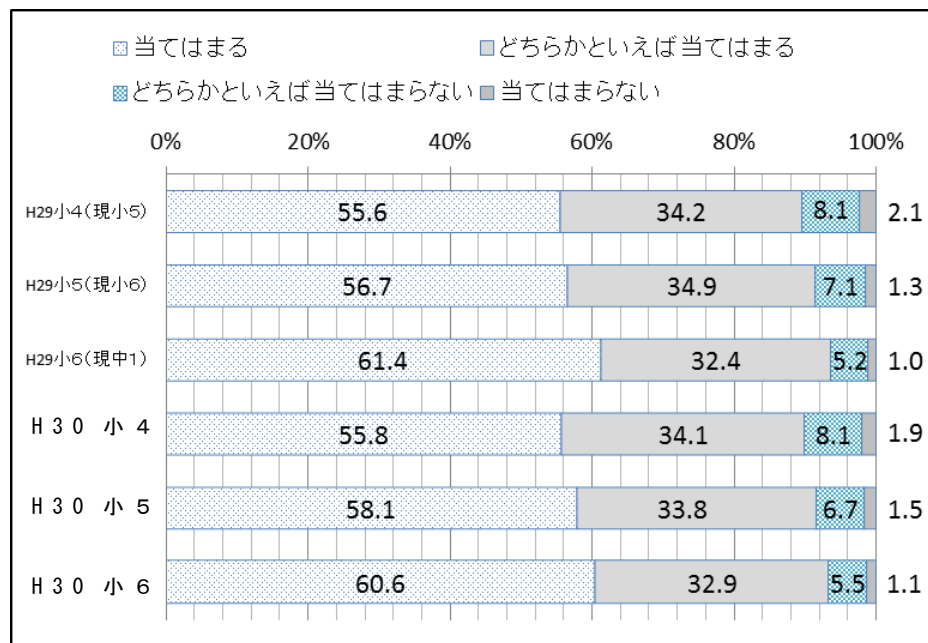
【質問⑦】授業で使うノートやプリントに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思いますか。



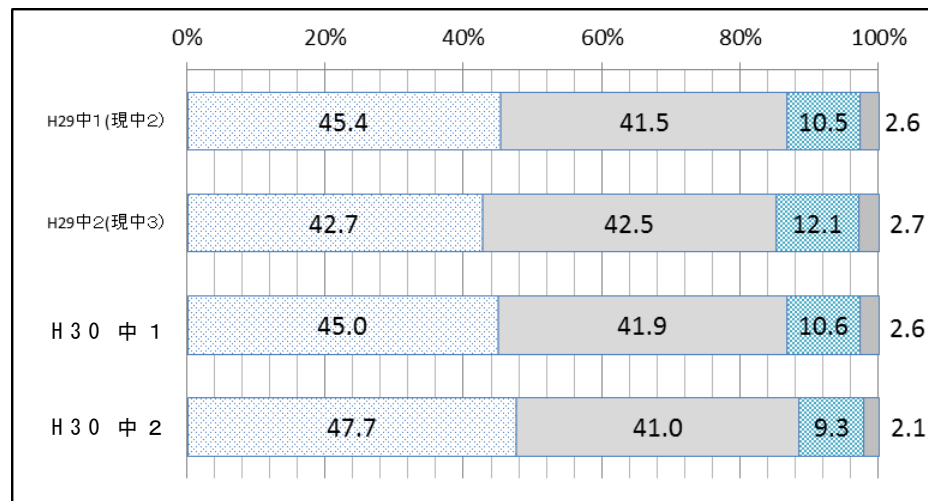
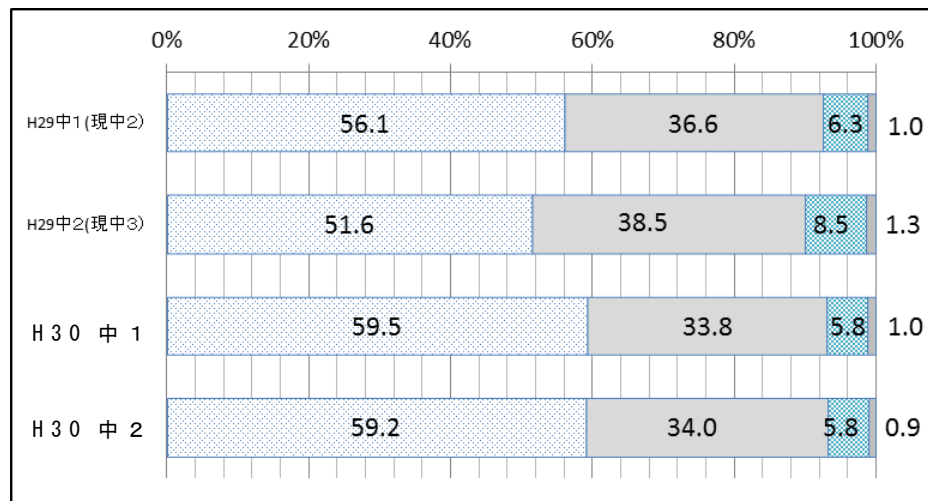
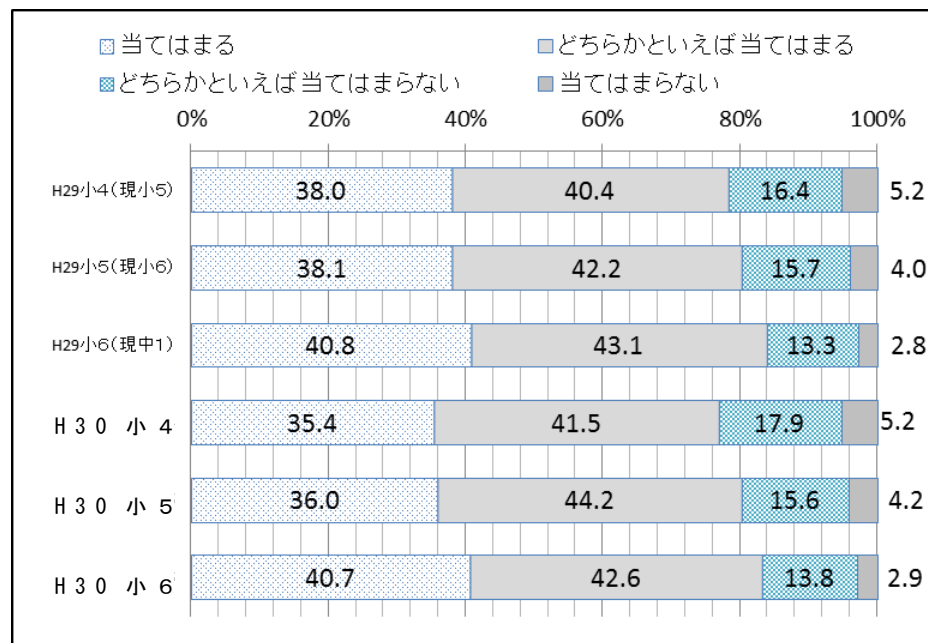
【質問⑧】授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



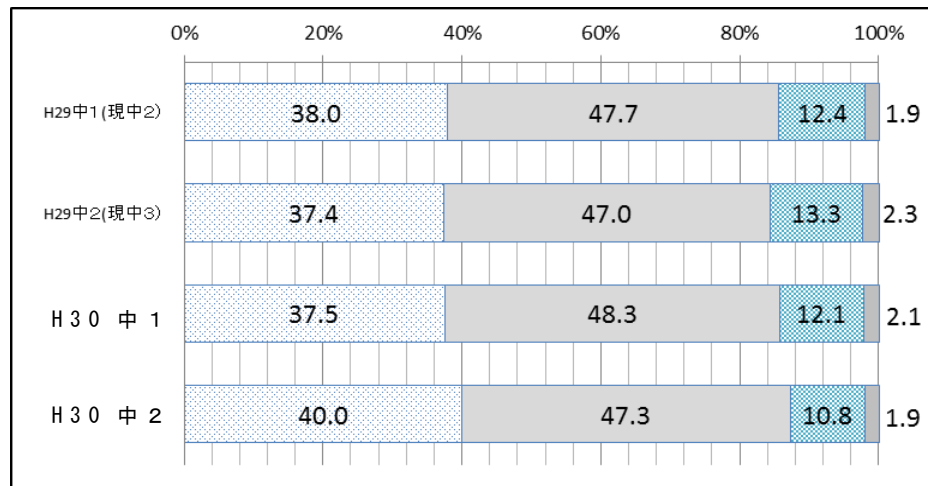
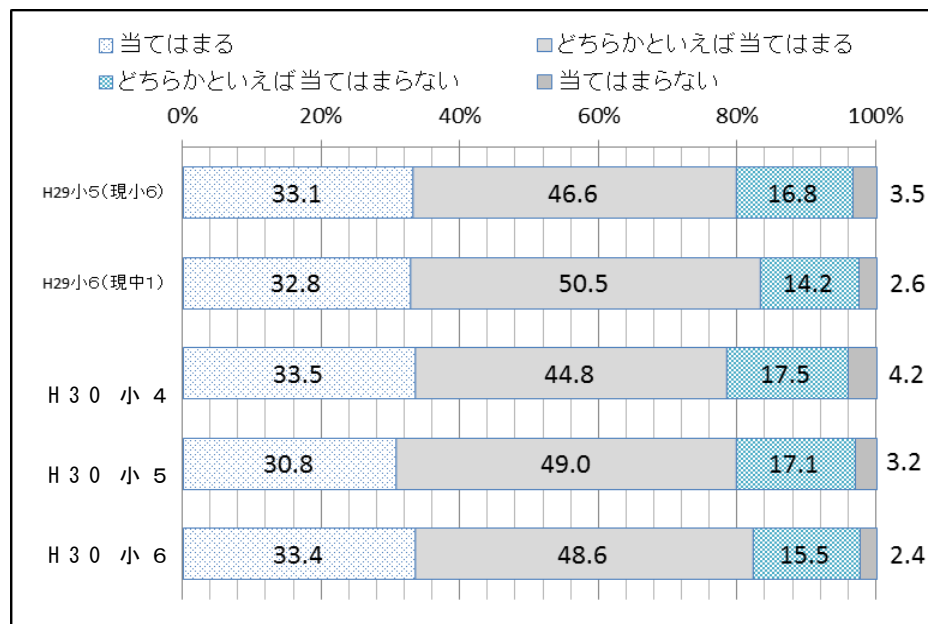
【質問⑨】授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。



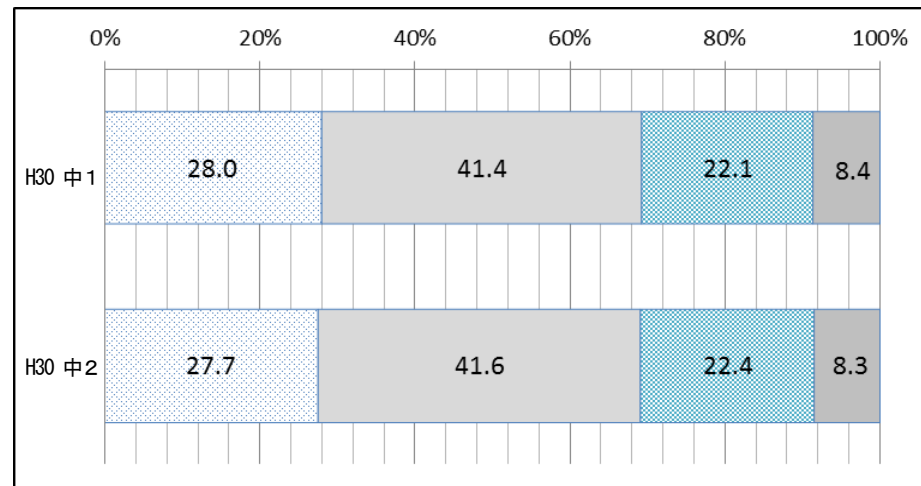
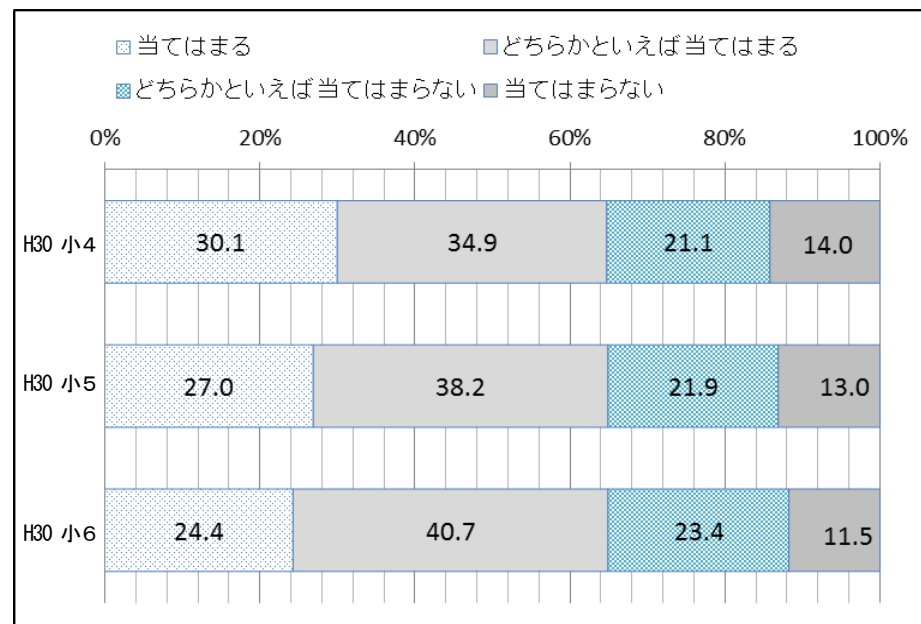
【質問⑩】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていると思いますか。



【質問⑪】授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思いますか。



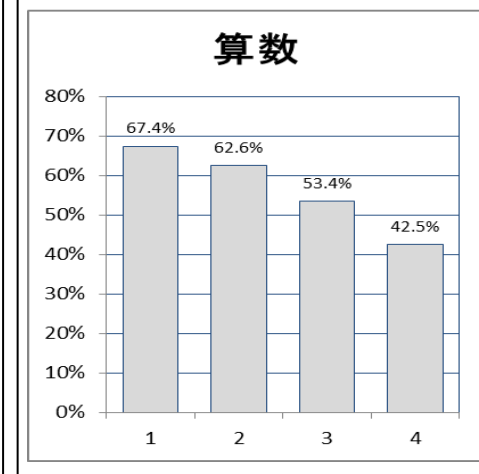
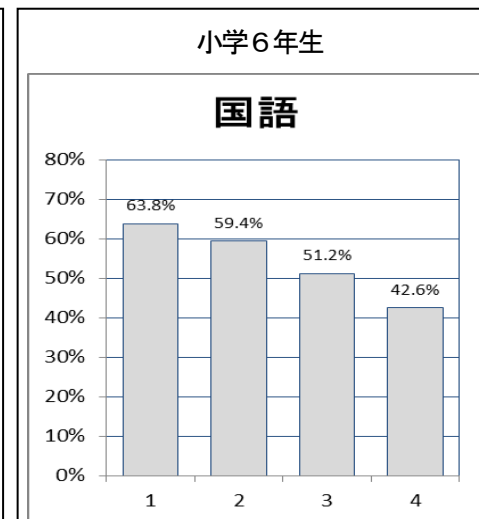
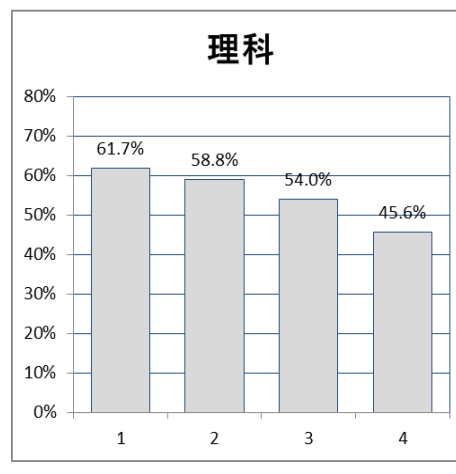
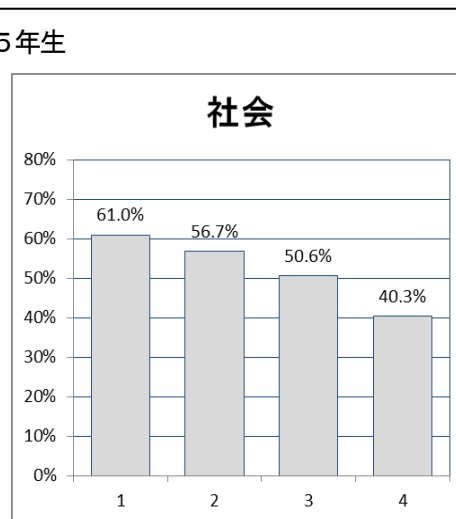
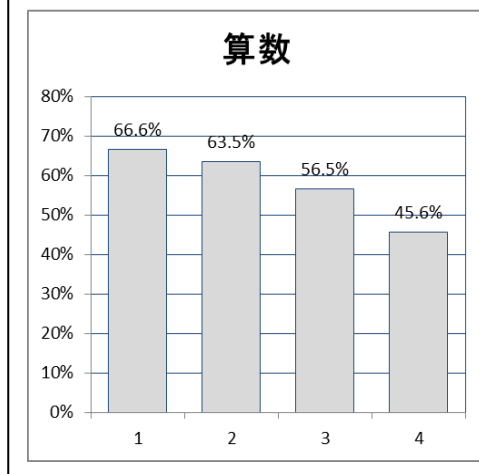
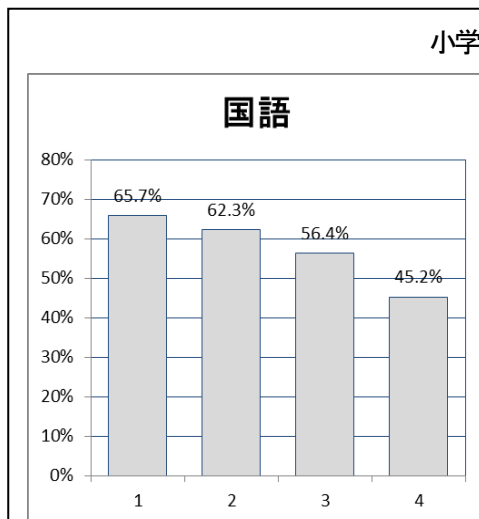
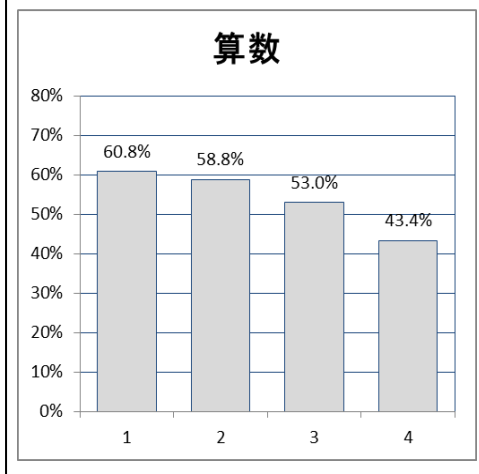
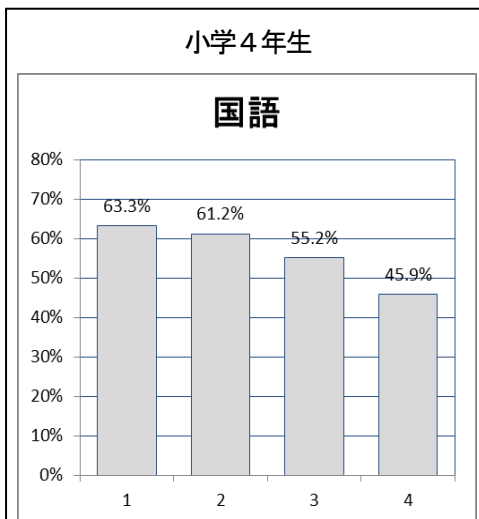
【質問⑫】国語の勉強が好きですか。



平成30年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問⑪】 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思いますか。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 あまり当てはまらない | 4 当てはまらない |



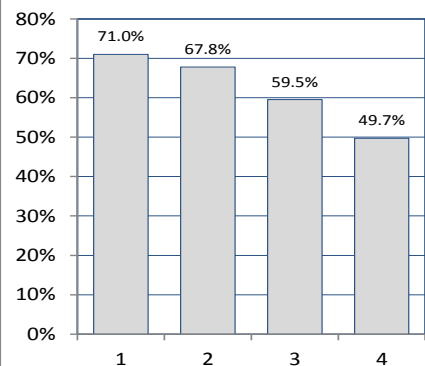
平成30年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問⑪】 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思いますか。

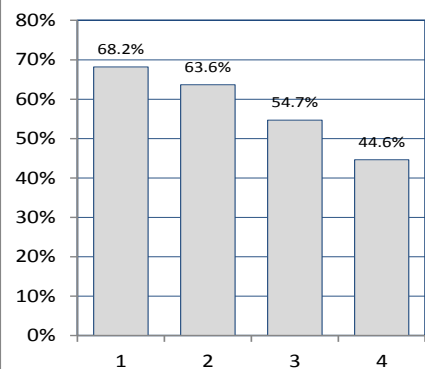
- | | |
|--------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 あまり当てはまらない | 4 当てはまらない |

中学1年生

国語

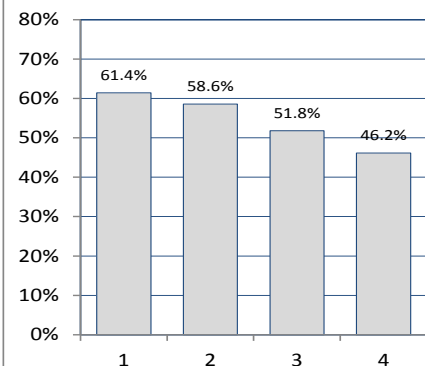


数学

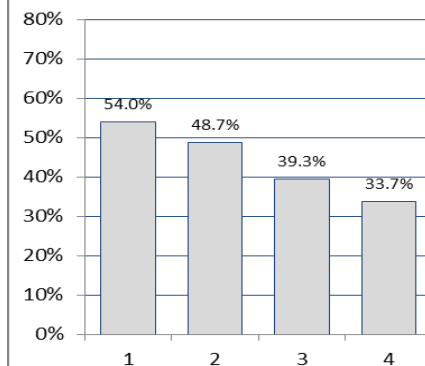


中学2年生

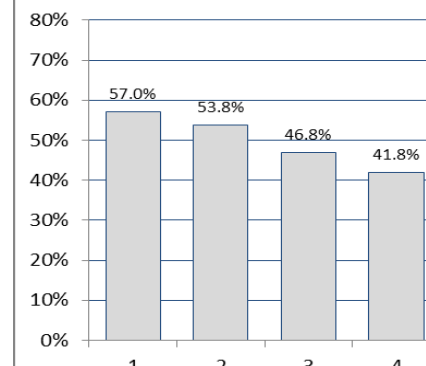
国語



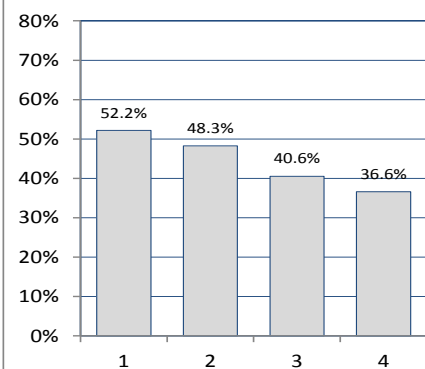
社会



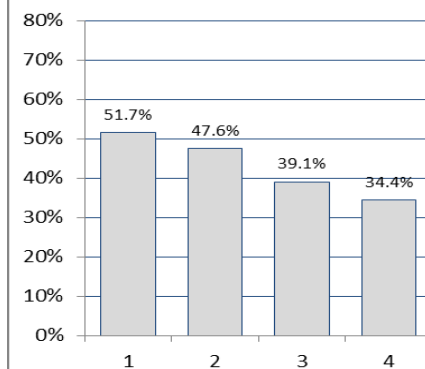
英語



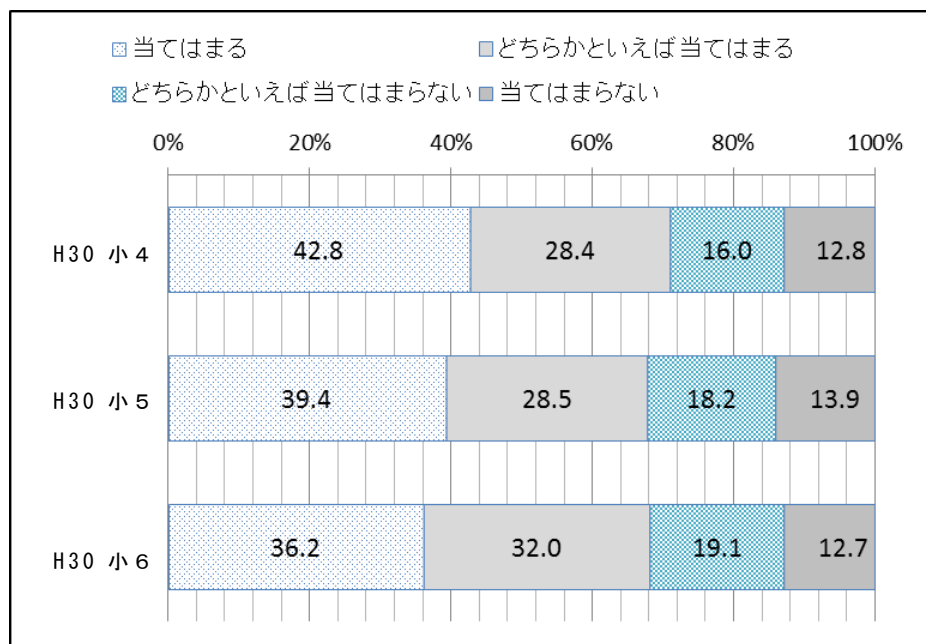
数学



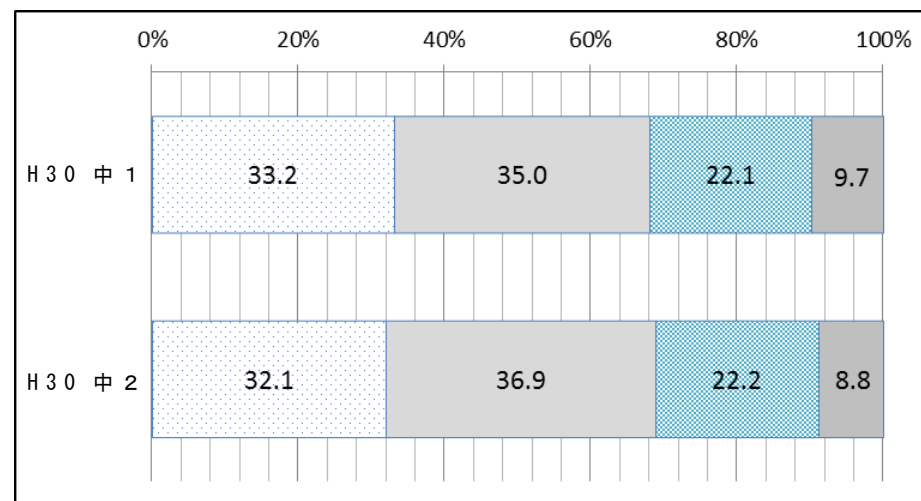
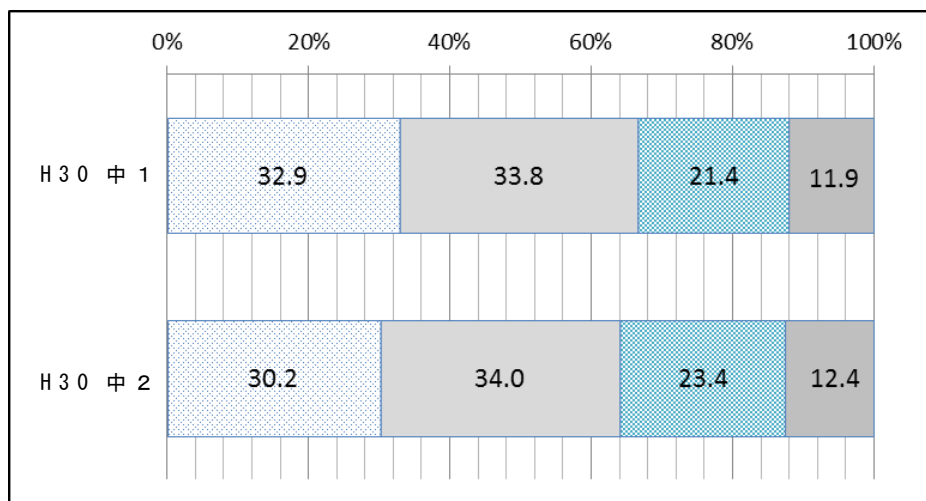
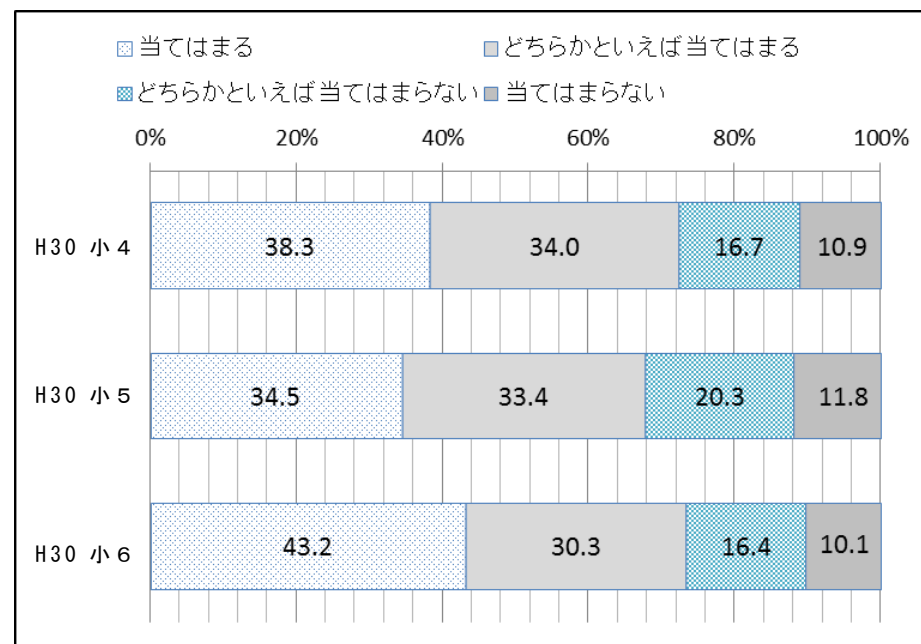
理科



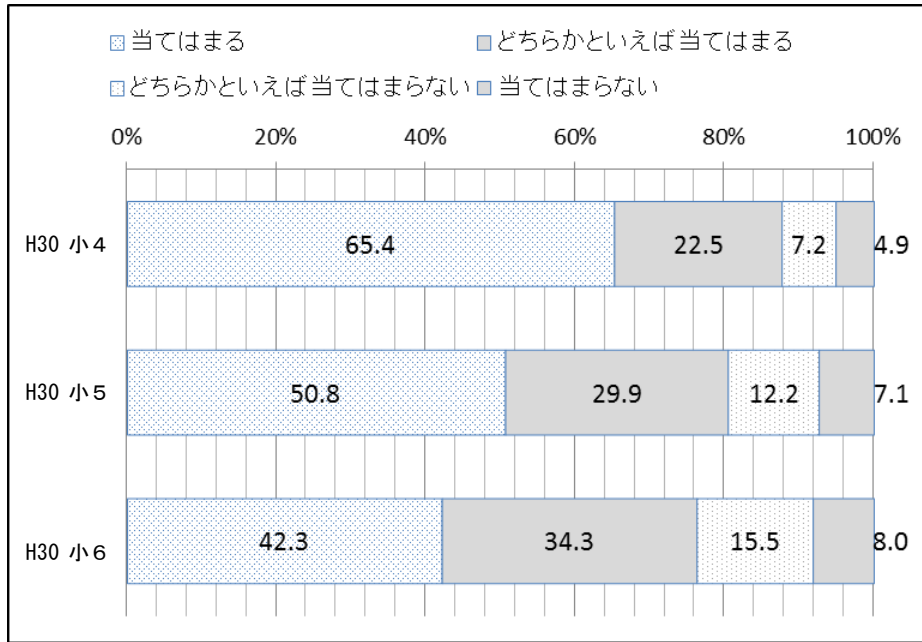
【質問⑬】算数・数学の勉強が好きですか。



【質問⑭】社会の勉強が好きですか。



【質問⑮】理科の勉強が好きですか。



【質問⑯】英語の勉強が好きですか。

